小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 2.4 × 1.5

答え

(2) 0.7 × 0.6

答え

(3) 3.25 × 0.4

答え

(4) 4.8 ÷ 1.2

答え

(5) 3.6 ÷ 0.8

答え

(6) 1.26 ÷ 0.3

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3.6

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 0.42

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 1.3

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて3けたになるようにします。

(4) 4

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 4.5

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(6) 4.2

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 3.6 × 0.5

答え

(2) 3.1 × 0.5

答え

(3) 1.3 × 11

答え

(4) 1.8 ÷ 0.5

答え

(5) 27.5 ÷ 11

答え

(6) 34.1 ÷ 11

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1.8

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1.55

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 14.3

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 3.6

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 2.5

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 3.1

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 3.9 × 0.6

答え

(2) 3.2 × 0.6

答え

(3) 1.4 × 12

答え

(4) 2.34 ÷ 0.6

答え

(5) 31.2 ÷ 12

答え

(6) 38.4 ÷ 12

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2.34

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1.92

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 16.8

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 3.9

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 2.6

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 3.2

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 4.2 × 0.7

答え

(2) 3.3 × 0.7

答え

(3) 1.5 × 13

答え

(4) 2.94 ÷ 0.7

答え

(5) 35.1 ÷ 13

答え

(6) 42.9 ÷ 13

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2.94

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 2.31

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 19.5

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 4.2

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 2.7

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 3.3

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 4.5 × 0.8

答え

(2) 3.4 × 0.8

答え

(3) 1.6 × 14

答え

(4) 3.6 ÷ 0.8

答え

(5) 39.2 ÷ 14

答え

(6) 47.6 ÷ 14

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3.6

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 2.72

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 22.4

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 4.5

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 2.8

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 3.4

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1mが160円のリボンを1.5m買います。代金は何円ですか。

答え

(2) 3.6Lのジュースを、1本に0.6Lずつ入れます。何本できますか。

答え

(3) 面積が7.2m²、たてが1.8mの長方形の横の長さは何mですか。

答え

(4) 「0.8×0.5=4」を正しく直しましょう。

答え

(5) □×1.2=6。□に入る数を求めましょう。

答え

(6) 2.4÷0.6の答えは、2.4より大きいですか。計算して確かめましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 240円

1mの代金×長さ。160×1.5。

(2) 6本

全部の量÷1本の量。36÷6と同じです。

(3) 4m

横＝面積÷たて。72÷18。

(4) 0.4

8×5=40。小数点以下を合わせて2けたにすると0.40=0.4です。

(5) 5

6÷1.2=60÷12。

(6) 大きい。答えは4。

0.6ずつのまとまりは4こ。1より小さい正の数でわると、商はもとの数より大きくなります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m340円のリボンを4.8m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 1.44Lを、1本0.3Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 4.8kgの箱が15箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 72mのひもを15人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.3=1.44。□を求めましょう。

答え

(6) 4.8を0.3倍する式は、4.8+0.3ですか、4.8×0.3ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1632円

1mの代金×長さ。

(2) 4.8本分

全体÷1本分の量。

(3) 72kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 4.8m

全体を人数でわります。

(5) 4.8

積をかける数でわります。

(6) 4.8×0.3

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m360円のリボンを5.1m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 2.04Lを、1本0.4Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 5.1kgの箱が16箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 81.6mのひもを16人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.4=2.04。□を求めましょう。

答え

(6) 5.1を0.4倍する式は、5.1+0.4ですか、5.1×0.4ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1836円

1mの代金×長さ。

(2) 5.1本分

全体÷1本分の量。

(3) 81.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 5.1m

全体を人数でわります。

(5) 5.1

積をかける数でわります。

(6) 5.1×0.4

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m380円のリボンを5.4m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 2.7Lを、1本0.5Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 5.4kgの箱が17箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 91.8mのひもを17人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.5=2.7。□を求めましょう。

答え

(6) 5.4を0.5倍する式は、5.4+0.5ですか、5.4×0.5ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2052円

1mの代金×長さ。

(2) 5.4本分

全体÷1本分の量。

(3) 91.8kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 5.4m

全体を人数でわります。

(5) 5.4

積をかける数でわります。

(6) 5.4×0.5

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m400円のリボンを5.7m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 3.42Lを、1本0.6Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 5.7kgの箱が18箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 102.6mのひもを18人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.6=3.42。□を求めましょう。

答え

(6) 5.7を0.6倍する式は、5.7+0.6ですか、5.7×0.6ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2280円

1mの代金×長さ。

(2) 5.7本分

全体÷1本分の量。

(3) 102.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 5.7m

全体を人数でわります。

(5) 5.7

積をかける数でわります。

(6) 5.7×0.6

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1.8 × 0.4

答え

(2) 2.5 × 0.4

答え

(3) 0.7 × 5

答え

(4) 0.72 ÷ 0.4

答え

(5) 9.5 ÷ 5

答え

(6) 12.5 ÷ 5

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 0.72

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 3.5

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 1.8

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 1.9

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 2.5

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 6 × 0.7

答え

(2) 3.9 × 0.7

答え

(3) 2.1 × 19

答え

(4) 4.2 ÷ 0.7

答え

(5) 62.7 ÷ 19

答え

(6) 74.1 ÷ 19

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4.2

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(2) 2.73

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 39.9

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 6

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.3

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 3.9

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 6.3 × 0.8

答え

(2) 4 × 0.8

答え

(3) 2.2 × 20

答え

(4) 5.04 ÷ 0.8

答え

(5) 68 ÷ 20

答え

(6) 80 ÷ 20

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5.04

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 3.2

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(3) 44

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 6.3

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.4

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 6.6 × 0.3

答え

(2) 4.1 × 0.3

答え

(3) 2.3 × 21

答え

(4) 1.98 ÷ 0.3

答え

(5) 73.5 ÷ 21

答え

(6) 86.1 ÷ 21

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1.98

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1.23

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 48.3

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 6.6

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.5

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.1

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 6.9 × 0.4

答え

(2) 4.2 × 0.4

答え

(3) 2.4 × 22

答え

(4) 2.76 ÷ 0.4

答え

(5) 79.2 ÷ 22

答え

(6) 92.4 ÷ 22

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2.76

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1.68

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 52.8

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 6.9

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.6

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.2

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 2.1 × 0.5

答え

(2) 2.6 × 0.5

答え

(3) 0.8 × 6

答え

(4) 1.05 ÷ 0.5

答え

(5) 12 ÷ 6

答え

(6) 15.6 ÷ 6

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1.05

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 1.3

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 4.8

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 2.1

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 2

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 2.6

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 7.2 × 0.5

答え

(2) 4.3 × 0.5

答え

(3) 2.5 × 23

答え

(4) 3.6 ÷ 0.5

答え

(5) 85.1 ÷ 23

答え

(6) 98.9 ÷ 23

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3.6

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 2.15

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 57.5

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 7.2

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.7

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.3

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 7.5 × 0.6

答え

(2) 4.4 × 0.6

答え

(3) 2.6 × 24

答え

(4) 4.5 ÷ 0.6

答え

(5) 91.2 ÷ 24

答え

(6) 105.6 ÷ 24

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4.5

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 2.64

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 62.4

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 7.5

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.8

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.4

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 7.8 × 0.7

答え

(2) 4.5 × 0.7

答え

(3) 2.7 × 25

答え

(4) 5.46 ÷ 0.7

答え

(5) 97.5 ÷ 25

答え

(6) 112.5 ÷ 25

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5.46

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 3.15

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 67.5

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 7.8

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 3.9

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.5

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 8.1 × 0.8

答え

(2) 4.6 × 0.8

答え

(3) 2.8 × 26

答え

(4) 6.48 ÷ 0.8

答え

(5) 104 ÷ 26

答え

(6) 119.6 ÷ 26

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6.48

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(2) 3.68

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて2けたになるようにします。

(3) 72.8

整数と同じようにかけ算をして、小数点以下が合わせて1けたになるようにします。

(4) 8.1

わる数を整数にするため、両方の数を10倍してからわります。

(5) 4

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

(6) 4.6

わる数を整数にするため、両方の数を1倍してからわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m180円のリボンを2.4m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 1.44Lを、1本0.6Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 2.4kgの箱が7箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 16.8mのひもを7人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.6=1.44。□を求めましょう。

答え

(6) 2.4を0.6倍する式は、2.4+0.6ですか、2.4×0.6ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 432円

1mの代金×長さ。

(2) 2.4本分

全体÷1本分の量。

(3) 16.8kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 2.4m

全体を人数でわります。

(5) 2.4

積をかける数でわります。

(6) 2.4×0.6

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m580円のリボンを8.4m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 2.52Lを、1本0.3Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 8.4kgの箱が27箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 226.8mのひもを27人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.3=2.52。□を求めましょう。

答え

(6) 8.4を0.3倍する式は、8.4+0.3ですか、8.4×0.3ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4872円

1mの代金×長さ。

(2) 8.4本分

全体÷1本分の量。

(3) 226.8kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 8.4m

全体を人数でわります。

(5) 8.4

積をかける数でわります。

(6) 8.4×0.3

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m600円のリボンを8.7m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 3.48Lを、1本0.4Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 8.7kgの箱が28箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 243.6mのひもを28人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.4=3.48。□を求めましょう。

答え

(6) 8.7を0.4倍する式は、8.7+0.4ですか、8.7×0.4ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 5220円

1mの代金×長さ。

(2) 8.7本分

全体÷1本分の量。

(3) 243.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 8.7m

全体を人数でわります。

(5) 8.7

積をかける数でわります。

(6) 8.7×0.4

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m620円のリボンを9m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 4.5Lを、1本0.5Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 9kgの箱が29箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 261mのひもを29人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.5=4.5。□を求めましょう。

答え

(6) 9を0.5倍する式は、9+0.5ですか、9×0.5ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5580円

1mの代金×長さ。

(2) 9本分

全体÷1本分の量。

(3) 261kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 9m

全体を人数でわります。

(5) 9

積をかける数でわります。

(6) 9×0.5

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m640円のリボンを9.3m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 5.58Lを、1本0.6Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 9.3kgの箱が30箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 279mのひもを30人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.6=5.58。□を求めましょう。

答え

(6) 9.3を0.6倍する式は、9.3+0.6ですか、9.3×0.6ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5952円

1mの代金×長さ。

(2) 9.3本分

全体÷1本分の量。

(3) 279kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 9.3m

全体を人数でわります。

(5) 9.3

積をかける数でわります。

(6) 9.3×0.6

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m200円のリボンを2.7m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 1.89Lを、1本0.7Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 2.7kgの箱が8箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 21.6mのひもを8人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.7=1.89。□を求めましょう。

答え

(6) 2.7を0.7倍する式は、2.7+0.7ですか、2.7×0.7ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 540円

1mの代金×長さ。

(2) 2.7本分

全体÷1本分の量。

(3) 21.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 2.7m

全体を人数でわります。

(5) 2.7

積をかける数でわります。

(6) 2.7×0.7

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m660円のリボンを9.6m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 6.72Lを、1本0.7Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 9.6kgの箱が31箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 297.6mのひもを31人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.7=6.72。□を求めましょう。

答え

(6) 9.6を0.7倍する式は、9.6+0.7ですか、9.6×0.7ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6336円

1mの代金×長さ。

(2) 9.6本分

全体÷1本分の量。

(3) 297.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 9.6m

全体を人数でわります。

(5) 9.6

積をかける数でわります。

(6) 9.6×0.7

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m680円のリボンを9.9m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 7.92Lを、1本0.8Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 9.9kgの箱が32箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 316.8mのひもを32人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.8=7.92。□を求めましょう。

答え

(6) 9.9を0.8倍する式は、9.9+0.8ですか、9.9×0.8ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 6732円

1mの代金×長さ。

(2) 9.9本分

全体÷1本分の量。

(3) 316.8kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 9.9m

全体を人数でわります。

(5) 9.9

積をかける数でわります。

(6) 9.9×0.8

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m700円のリボンを10.2m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 3.06Lを、1本0.3Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 10.2kgの箱が33箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 336.6mのひもを33人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.3=3.06。□を求めましょう。

答え

(6) 10.2を0.3倍する式は、10.2+0.3ですか、10.2×0.3ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 7140円

1mの代金×長さ。

(2) 10.2本分

全体÷1本分の量。

(3) 336.6kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 10.2m

全体を人数でわります。

(5) 10.2

積をかける数でわります。

(6) 10.2×0.3

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

小数のかけ算・わり算

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 小数のかけ算は小数点のけた数を数えます。わり算は、わる数を整数に直します。

例 3.6÷0.8=36÷8=4.5。両方を10倍しても商は変わりません。

(1) 1m720円のリボンを10.5m買います。代金はいくらですか。

答え

(2) 4.2Lを、1本0.4Lずつ分けます。何本分ですか。

答え

(3) 10.5kgの箱が34箱あります。全部で何kgですか。

答え

(4) 357mのひもを34人で等しく分けます。1人何mですか。

答え

(5) □×0.4=4.2。□を求めましょう。

答え

(6) 10.5を0.4倍する式は、10.5+0.4ですか、10.5×0.4ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

小数のかけ算・わり算 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 7560円

1mの代金×長さ。

(2) 10.5本分

全体÷1本分の量。

(3) 357kg

1箱の重さ×箱数。

(4) 10.5m

全体を人数でわります。

(5) 10.5

積をかける数でわります。

(6) 10.5×0.4

同じ量の何倍かを求めるときは、かけ算を使います。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}$

答え

(2) $\frac{2}{5}+\frac{1}{4}$

答え

(3) $\frac{3}{4}-\frac{1}{6}$

答え

(4) $\frac{5}{6}-\frac{1}{4}$

答え

(5) $\frac{3}{8}+\frac{5}{12}$

答え

(6) $\frac{7}{10}-\frac{2}{5}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

---

(1) $\frac{5}{6}$

分母を6にそろえると $\frac{3}{6}+\frac{2}{6}$。分子を計算します。

---

(2) $\frac{13}{20}$

分母を20にそろえると $\frac{8}{20}+\frac{5}{20}$。分子を計算します。

---

(3) $\frac{7}{12}$

分母を12にそろえると $\frac{9}{12}-\frac{2}{12}$。分子を計算します。

---

(4) $\frac{7}{12}$

分母を12にそろえると $\frac{10}{12}-\frac{3}{12}$。分子を計算します。

---

(5) $\frac{19}{24}$

分母を24にそろえると $\frac{9}{24}+\frac{10}{24}$。分子を計算します。

---

(6) $\frac{3}{10}$

分母を10にそろえると $\frac{7}{10}-\frac{4}{10}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{7}+\frac{1}{3}$

答え

(2) $\frac{13}{21}-\frac{2}{7}$

答え

(3) $\frac{2}{7}+\frac{2}{7}$

答え

(4) $1-\frac{1}{3}$

答え

(5) $\frac{13}{21}-\frac{1}{3}$

答え

(6) $\frac{1}{3}+\frac{1}{3}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{13}{21}$

分母を21にそろえると $\frac{6}{21}+\frac{7}{21}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{3}$

分母を21にそろえると $\frac{13}{21}-\frac{6}{21}$。分子を計算します。

(3) $\frac{4}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{2}{7}+\frac{2}{7}$。分子を計算します。

(4) $\frac{2}{3}$

分母を3にそろえると $\frac{3}{3}-\frac{1}{3}$。分子を計算します。

(5) $\frac{2}{7}$

分母を21にそろえると $\frac{13}{21}-\frac{7}{21}$。分子を計算します。

(6) $\frac{2}{3}$

分母を3にそろえると $\frac{1}{3}+\frac{1}{3}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{4}+\frac{2}{7}$

答え

(2) $\frac{15}{28}-\frac{1}{4}$

答え

(3) $\frac{1}{4}+\frac{1}{4}$

答え

(4) $1-\frac{2}{7}$

答え

(5) $\frac{15}{28}-\frac{2}{7}$

答え

(6) $\frac{2}{7}+\frac{2}{7}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{15}{28}$

分母を28にそろえると $\frac{7}{28}+\frac{8}{28}$。分子を計算します。

(2) $\frac{2}{7}$

分母を28にそろえると $\frac{15}{28}-\frac{7}{28}$。分子を計算します。

(3) $\frac{1}{2}$

分母を4にそろえると $\frac{1}{4}+\frac{1}{4}$。分子を計算します。

(4) $\frac{5}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{7}{7}-\frac{2}{7}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{4}$

分母を28にそろえると $\frac{15}{28}-\frac{8}{28}$。分子を計算します。

(6) $\frac{4}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{2}{7}+\frac{2}{7}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{9}+\frac{4}{15}$

答え

(2) $\frac{22}{45}-\frac{2}{9}$

答え

(3) $\frac{2}{9}+\frac{2}{9}$

答え

(4) $1-\frac{4}{15}$

答え

(5) $\frac{22}{45}-\frac{4}{15}$

答え

(6) $\frac{4}{15}+\frac{4}{15}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{22}{45}$

分母を45にそろえると $\frac{10}{45}+\frac{12}{45}$。分子を計算します。

(2) $\frac{4}{15}$

分母を45にそろえると $\frac{22}{45}-\frac{10}{45}$。分子を計算します。

(3) $\frac{4}{9}$

分母を9にそろえると $\frac{2}{9}+\frac{2}{9}$。分子を計算します。

(4) $\frac{11}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{15}{15}-\frac{4}{15}$。分子を計算します。

(5) $\frac{2}{9}$

分母を45にそろえると $\frac{22}{45}-\frac{12}{45}$。分子を計算します。

(6) $\frac{8}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{4}{15}+\frac{4}{15}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5}+\frac{1}{4}$

答え

(2) $\frac{9}{20}-\frac{1}{5}$

答え

(3) $\frac{1}{5}+\frac{1}{5}$

答え

(4) $1-\frac{1}{4}$

答え

(5) $\frac{9}{20}-\frac{1}{4}$

答え

(6) $\frac{1}{4}+\frac{1}{4}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{9}{20}$

分母を20にそろえると $\frac{4}{20}+\frac{5}{20}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{4}$

分母を20にそろえると $\frac{9}{20}-\frac{4}{20}$。分子を計算します。

(3) $\frac{2}{5}$

分母を5にそろえると $\frac{1}{5}+\frac{1}{5}$。分子を計算します。

(4) $\frac{3}{4}$

分母を4にそろえると $\frac{4}{4}-\frac{1}{4}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{5}$

分母を20にそろえると $\frac{9}{20}-\frac{5}{20}$。分子を計算します。

(6) $\frac{1}{2}$

分母を4にそろえると $\frac{1}{4}+\frac{1}{4}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{2}$Lの牛乳に$\frac{1}{4}$Lを加えます。合計何Lですか。

答え

(2) $\frac{5}{6}$mのひもから$\frac{1}{3}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 「$\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{2}{5}$」を正しく直しましょう。

答え

(4) □$+\frac{2}{5}=\frac{3}{4}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) 1kmの道のりを$\frac{3}{8}$km進み、さらに$\frac{1}{4}$km進みます。残りは何kmですか。

答え

(6) Aのひもは$\frac{7}{10}$m、Bは$\frac{2}{3}$mです。AはBより何m長いですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

---

(1) $\frac{3}{4}$L

$\frac{1}{2}=\frac{2}{4}$なので、$\frac{2}{4}+\frac{1}{4}$。

---

(2) $\frac{1}{2}$m

$\frac{1}{3}=\frac{2}{6}$。$\frac{5}{6}-\frac{2}{6}=\frac{3}{6}$を約分します。

---

(3) $\frac{5}{6}$

分母も分子もたすのではありません。6に通分すると$\frac{3}{6}+\frac{2}{6}$です。

---

(4) $\frac{7}{20}$

$\frac{3}{4}-\frac{2}{5}=\frac{15}{20}-\frac{8}{20}$。

---

(5) $\frac{3}{8}$km

進んだのは$\frac{3}{8}+\frac{2}{8}=\frac{5}{8}$。1からひきます。

---

(6) $\frac{1}{30}$m

30に通分し、$\frac{21}{30}-\frac{20}{30}$を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{11}$Lと$\frac{5}{18}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{2}{11}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{2}{11}$km、午後に$\frac{5}{18}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{2}{11}=\frac{91}{198}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{91}{198}$kgの粉から$\frac{5}{18}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{2}{11}+\frac{5}{18}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{91}{198}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{9}{11}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{91}{198}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{18}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{2}{11}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{6}$Lと$\frac{5}{6}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{1}{6}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{1}{6}$km、午後に$\frac{5}{6}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{1}{6}=1$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) 1kgの粉から$\frac{5}{6}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{1}{6}+\frac{5}{6}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{5}{6}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) 1km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{6}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{1}{6}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{15}$Lと$\frac{5}{8}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{2}{15}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{2}{15}$km、午後に$\frac{5}{8}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{2}{15}=\frac{91}{120}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{91}{120}$kgの粉から$\frac{5}{8}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{2}{15}+\frac{5}{8}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{91}{120}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{13}{15}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{91}{120}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{8}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{2}{15}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{8}$Lと$\frac{1}{2}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{1}{8}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{1}{8}$km、午後に$\frac{1}{2}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{1}{8}=\frac{5}{8}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{5}{8}$kgの粉から$\frac{1}{2}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{1}{8}+\frac{1}{2}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{5}{8}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{7}{8}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{5}{8}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{1}{2}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{1}{8}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5}+\frac{4}{17}$

答え

(2) $\frac{37}{85}-\frac{1}{5}$

答え

(3) $\frac{1}{5}+\frac{1}{5}$

答え

(4) $1-\frac{4}{17}$

答え

(5) $\frac{37}{85}-\frac{4}{17}$

答え

(6) $\frac{4}{17}+\frac{4}{17}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{37}{85}$

分母を85にそろえると $\frac{17}{85}+\frac{20}{85}$。分子を計算します。

(2) $\frac{4}{17}$

分母を85にそろえると $\frac{37}{85}-\frac{17}{85}$。分子を計算します。

(3) $\frac{2}{5}$

分母を5にそろえると $\frac{1}{5}+\frac{1}{5}$。分子を計算します。

(4) $\frac{13}{17}$

分母を17にそろえると $\frac{17}{17}-\frac{4}{17}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{5}$

分母を85にそろえると $\frac{37}{85}-\frac{20}{85}$。分子を計算します。

(6) $\frac{8}{17}$

分母を17にそろえると $\frac{4}{17}+\frac{4}{17}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{7}+\frac{1}{6}$

答え

(2) $\frac{25}{42}-\frac{3}{7}$

答え

(3) $\frac{3}{7}+\frac{3}{7}$

答え

(4) $1-\frac{1}{6}$

答え

(5) $\frac{25}{42}-\frac{1}{6}$

答え

(6) $\frac{1}{6}+\frac{1}{6}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{25}{42}$

分母を42にそろえると $\frac{18}{42}+\frac{7}{42}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{6}$

分母を42にそろえると $\frac{25}{42}-\frac{18}{42}$。分子を計算します。

(3) $\frac{6}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{3}{7}+\frac{3}{7}$。分子を計算します。

(4) $\frac{5}{6}$

分母を6にそろえると $\frac{6}{6}-\frac{1}{6}$。分子を計算します。

(5) $\frac{3}{7}$

分母を42にそろえると $\frac{25}{42}-\frac{7}{42}$。分子を計算します。

(6) $\frac{1}{3}$

分母を6にそろえると $\frac{1}{6}+\frac{1}{6}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{8}+\frac{1}{7}$

答え

(2) $\frac{29}{56}-\frac{3}{8}$

答え

(3) $\frac{3}{8}+\frac{3}{8}$

答え

(4) $1-\frac{1}{7}$

答え

(5) $\frac{29}{56}-\frac{1}{7}$

答え

(6) $\frac{1}{7}+\frac{1}{7}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{29}{56}$

分母を56にそろえると $\frac{21}{56} + \frac{8}{56}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{7}$

分母を56にそろえると $\frac{29}{56} - \frac{21}{56}$。分子を計算します。

(3) $\frac{3}{4}$

分母を8にそろえると $\frac{3}{8} + \frac{3}{8}$。分子を計算します。

(4) $\frac{6}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{7}{7} - \frac{1}{7}$。分子を計算します。

(5) $\frac{3}{8}$

分母を56にそろえると $\frac{29}{56} - \frac{8}{56}$。分子を計算します。

(6) $\frac{2}{7}$

分母を7にそろえると $\frac{1}{7} + \frac{1}{7}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{3}+\frac{2}{15}$

答え

(2) $\frac{7}{15}-\frac{1}{3}$

答え

(3) $\frac{1}{3}+\frac{1}{3}$

答え

(4) $1-\frac{2}{15}$

答え

(5) $\frac{7}{15}-\frac{2}{15}$

答え

(6) $\frac{2}{15}+\frac{2}{15}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{7}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{5}{15}+\frac{2}{15}$。分子を計算します。

(2) $\frac{2}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{7}{15}-\frac{5}{15}$。分子を計算します。

(3) $\frac{2}{3}$

分母を3にそろえると $\frac{1}{3}+\frac{1}{3}$。分子を計算します。

(4) $\frac{13}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{15}{15}-\frac{2}{15}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{3}$

分母を15にそろえると $\frac{7}{15}-\frac{2}{15}$。分子を計算します。

(6) $\frac{4}{15}$

分母を15にそろえると $\frac{2}{15}+\frac{2}{15}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{10}+\frac{1}{8}$

答え

(2) $\frac{17}{40}-\frac{3}{10}$

答え

(3) $\frac{3}{10}+\frac{3}{10}$

答え

(4) $1-\frac{1}{8}$

答え

(5) $\frac{17}{40}-\frac{1}{8}$

答え

(6) $\frac{1}{8}+\frac{1}{8}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{17}{40}$

分母を40にそろえると $\frac{12}{40} + \frac{5}{40}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{8}$

分母を40にそろえると $\frac{17}{40} - \frac{12}{40}$。分子を計算します。

(3) $\frac{3}{5}$

分母を10にそろえると $\frac{3}{10} + \frac{3}{10}$。分子を計算します。

(4) $\frac{7}{8}$

分母を8にそろえると $\frac{8}{8} - \frac{1}{8}$。分子を計算します。

(5) $\frac{3}{10}$

分母を40にそろえると $\frac{17}{40} - \frac{5}{40}$。分子を計算します。

(6) $\frac{1}{4}$

分母を8にそろえると $\frac{1}{8} + \frac{1}{8}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{17}+\frac{5}{19}$

答え

(2) $\frac{161}{323}-\frac{4}{17}$

答え

(3) $\frac{4}{17}+\frac{4}{17}$

答え

(4) $1-\frac{5}{19}$

答え

(5) $\frac{161}{323}-\frac{5}{19}$

答え

(6) $\frac{5}{19}+\frac{5}{19}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

---

(1) $\frac{161}{323}$

分母を323にそろえると $\frac{76}{323}+\frac{85}{323}$。分子を計算します。

---

(2) $\frac{5}{19}$

分母を323にそろえると $\frac{161}{323}-\frac{76}{323}$。分子を計算します。

---

(3) $\frac{8}{17}$

分母を17にそろえると $\frac{4}{17}+\frac{4}{17}$。分子を計算します。

---

(4) $\frac{14}{19}$

分母を19にそろえると $\frac{19}{19}-\frac{5}{19}$。分子を計算します。

---

(5) $\frac{4}{17}$

分母を323にそろえると $\frac{161}{323}-\frac{85}{323}$。分子を計算します。

---

(6) $\frac{10}{19}$

分母を19にそろえると $\frac{5}{19}+\frac{5}{19}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{11}+\frac{1}{6}$

答え

(2) $\frac{29}{66}-\frac{3}{11}$

答え

(3) $\frac{3}{11}+\frac{3}{11}$

答え

(4) $1-\frac{1}{6}$

答え

(5) $\frac{29}{66}-\frac{1}{6}$

答え

(6) $\frac{1}{6}+\frac{1}{6}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{29}{66}$

分母を66にそろえると $\frac{18}{66} + \frac{11}{66}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{6}$

分母を66にそろえると $\frac{29}{66} - \frac{18}{66}$。分子を計算します。

(3) $\frac{6}{11}$

分母を11にそろえると $\frac{3}{11} + \frac{3}{11}$。分子を計算します。

(4) $\frac{5}{6}$

分母を6にそろえると $\frac{6}{6} - \frac{1}{6}$。分子を計算します。

(5) $\frac{3}{11}$

分母を66にそろえると $\frac{29}{66} - \frac{11}{66}$。分子を計算します。

(6) $\frac{1}{3}$

分母を6にそろえると $\frac{1}{6} + \frac{1}{6}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{4}+\frac{1}{2}$

答え

(2) $\frac{3}{4}-\frac{1}{4}$

答え

(3) $\frac{1}{4}+\frac{1}{4}$

答え

(4) $1-\frac{1}{2}$

答え

(5) $\frac{3}{4}-\frac{1}{2}$

答え

(6) $\frac{1}{2}+\frac{1}{2}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{3}{4}$

分母を4にそろえると $\frac{1}{4} + \frac{2}{4}$。分子を計算します。

(2) $\frac{1}{2}$

分母を4にそろえると $\frac{3}{4} - \frac{1}{4}$。分子を計算します。

(3) $\frac{1}{2}$

分母を4にそろえると $\frac{1}{4} + \frac{1}{4}$。分子を計算します。

(4) $\frac{1}{2}$

分母を2にそろえると $\frac{2}{2} - \frac{1}{2}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{4}$

分母を4にそろえると $\frac{3}{4} - \frac{2}{4}$。分子を計算します。

(6) 1

分母を2にそろえると $\frac{1}{2} + \frac{1}{2}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{5}+\frac{3}{8}$

答え

(2) $\frac{23}{40}-\frac{1}{5}$

答え

(3) $\frac{1}{5}+\frac{1}{5}$

答え

(4) $1-\frac{3}{8}$

答え

(5) $\frac{23}{40}-\frac{3}{8}$

答え

(6) $\frac{3}{8}+\frac{3}{8}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{23}{40}$

分母を40にそろえると $\frac{8}{40} + \frac{15}{40}$。分子を計算します。

(2) $\frac{3}{8}$

分母を40にそろえると $\frac{23}{40} - \frac{8}{40}$。分子を計算します。

(3) $\frac{2}{5}$

分母を5にそろえると $\frac{1}{5} + \frac{1}{5}$。分子を計算します。

(4) $\frac{5}{8}$

分母を8にそろえると $\frac{8}{8} - \frac{3}{8}$。分子を計算します。

(5) $\frac{1}{5}$

分母を40にそろえると $\frac{23}{40} - \frac{15}{40}$。分子を計算します。

(6) $\frac{3}{4}$

分母を8にそろえると $\frac{3}{8} + \frac{3}{8}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{3}{16}+\frac{3}{10}$

答え

(2) $\frac{39}{80}-\frac{3}{16}$

答え

(3) $\frac{3}{16}+\frac{3}{16}$

答え

(4) $1-\frac{3}{10}$

答え

(5) $\frac{39}{80}-\frac{3}{10}$

答え

(6) $\frac{3}{10}+\frac{3}{10}$

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{39}{80}$

分母を80にそろえると $\frac{15}{80}+\frac{24}{80}$。分子を計算します。

(2) $\frac{3}{10}$

分母を80にそろえると $\frac{39}{80}-\frac{15}{80}$。分子を計算します。

(3) $\frac{3}{8}$

分母を16にそろえると $\frac{3}{16}+\frac{3}{16}$。分子を計算します。

(4) $\frac{7}{10}$

分母を10にそろえると $\frac{10}{10}-\frac{3}{10}$。分子を計算します。

(5) $\frac{3}{16}$

分母を80にそろえると $\frac{39}{80}-\frac{24}{80}$。分子を計算します。

(6) $\frac{3}{5}$

分母を10にそろえると $\frac{3}{10}+\frac{3}{10}$。分子を計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{5}{19}$Lと$\frac{2}{7}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{5}{19}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{5}{19}$km、午後に$\frac{2}{7}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{5}{19}=\frac{73}{133}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{73}{133}$kgの粉から$\frac{2}{7}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{5}{19}+\frac{2}{7}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{73}{133}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{14}{19}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{73}{133}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{2}{7}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{5}{19}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{7}$Lと$\frac{1}{3}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{4}{7}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{4}{7}$km、午後に$\frac{1}{3}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{4}{7}=\frac{19}{21}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{19}{21}$kgの粉から$\frac{1}{3}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{4}{7}+\frac{1}{3}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{19}{21}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{3}{7}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{19}{21}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{1}{3}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{4}{7}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{2}$Lと$\frac{2}{7}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{1}{2}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{1}{2}$km、午後に$\frac{2}{7}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{1}{2}=\frac{11}{14}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{11}{14}$kgの粉から$\frac{2}{7}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{1}{2}+\frac{2}{7}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{11}{14}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{1}{2}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{11}{14}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{2}{7}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{1}{2}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{9}$Lと$\frac{4}{15}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{4}{9}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{4}{9}$km、午後に$\frac{4}{15}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{4}{9}=\frac{32}{45}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{32}{45}$kgの粉から$\frac{4}{15}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{4}{9}+\frac{4}{15}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{32}{45}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{5}{9}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{32}{45}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{4}{15}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{4}{9}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{5}$Lと$\frac{1}{4}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{2}{5}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{2}{5}$km、午後に$\frac{1}{4}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{2}{5}=\frac{13}{20}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{13}{20}$kgの粉から$\frac{1}{4}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{2}{5}+\frac{1}{4}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $1\frac{3}{20}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{3}{5}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $1\frac{3}{20}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{1}{4}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{2}{5}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{2}{7}$Lと$\frac{7}{23}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{2}{7}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{2}{7}$km、午後に$\frac{7}{23}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{2}{7}=\frac{95}{161}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{95}{161}$kgの粉から$\frac{7}{23}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{2}{7}+\frac{7}{23}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) $\frac{95}{161}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{5}{7}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{95}{161}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{7}{23}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{2}{7}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{11}$Lと$\frac{5}{18}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{4}{11}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{4}{11}$km、午後に$\frac{5}{18}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{4}{11}=\frac{127}{198}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{127}{198}$kgの粉から$\frac{5}{18}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{4}{11}+\frac{5}{18}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{127}{198}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{7}{11}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{127}{198}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{18}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{4}{11}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{3}$Lと$\frac{5}{6}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{1}{3}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{1}{3}$km、午後に$\frac{5}{6}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{1}{3}=\frac{7}{6}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{7}{6}$kgの粉から$\frac{5}{6}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{1}{3}+\frac{5}{6}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{7}{6}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{2}{3}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{7}{6}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{6}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{1}{3}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{4}{15}$Lと$\frac{5}{8}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{4}{15}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{4}{15}$km、午後に$\frac{5}{8}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{4}{15}=\frac{107}{120}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{107}{120}$kgの粉から$\frac{5}{8}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{4}{15}+\frac{5}{8}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{107}{120}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{11}{15}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{107}{120}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{5}{8}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{4}{15}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

分母が違う分数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 分母を同じ数にそろえることを通分といいます。分母と分子に同じ数をかけます。

例 $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}=\frac{3}{6}+\frac{2}{6}=\frac{5}{6}$。

(1) $\frac{1}{4}$Lと$\frac{1}{2}$Lを合わせます。何Lですか。

答え

(2) 1mから$\frac{1}{4}$m切ります。残りは何mですか。

答え

(3) 午前に$\frac{1}{4}$km、午後に$\frac{1}{2}$km歩きます。合計何kmですか。

答え

(4) □$+\frac{1}{4}=\frac{3}{4}$。□に入る数を求めましょう。

答え

(5) $\frac{3}{4}$kgの粉から$\frac{1}{2}$kg使います。残りは何kgですか。

答え

(6) $\frac{1}{4}+\frac{1}{2}$で、分母も分子もそのままたしてよいですか。

答え

分数の答えは、約分できるときは約分しましょう。 得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

分母が違う分数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) $\frac{3}{4}$L

分母をそろえて、分子をたします。

(2) $\frac{3}{4}$m

1を分数に直し、分母をそろえてひきます。

(3) $\frac{3}{4}$km

分母をそろえてたします。

(4) $\frac{1}{2}$

和から、たした数をひきます。

(5) $\frac{1}{4}$kg

分母をそろえてひきます。

(6) いけない

一つ分の大きさをそろえてから、何こ分かを計算します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 割合0.25を百分率で表しましょう。

答え

(2) 割合0.08を百分率で表しましょう。

答え

(3) 60%を小数で表しましょう。

答え

(4) 150%を小数で表しましょう。

答え

(5) 50人中20人の割合は何%ですか。

答え

(6) 80個の30%は何個ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25%

0.25×100。

(2) 8%

0.08×100。

(3) 0.6

60÷100。

(4) 1.5

150÷100。1より大きい割合です。

(5) 40%

20÷50=0.4。百分率に直します。

(6) 24個

比べる量=もとにする量×割合。

間違い直し

☐ 式の選び方 ☐ 計算 ☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.5を百分率で表しましょう。

答え

(2) 60%を小数で表しましょう。

答え

(3) 260の50%はいくつですか。

答え

(4) 260個中52個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は260です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 260の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 50%

100倍して%を付けます。

(2) 0.6

百分率を100でわります。

(3) 130

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 520

比べる量÷割合。

(6) 312

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.55を百分率で表しましょう。

答え

(2) 65%を小数で表しましょう。

答え

(3) 280の55%はいくつですか。

答え

(4) 280個中56個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は280です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 280の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 55%

100倍して%を付けます。

(2) 0.65

百分率を100でわります。

(3) 154

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 560

比べる量÷割合。

(6) 336

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.6を百分率で表しましょう。

答え

(2) 70%を小数で表しましょう。

答え

(3) 300の60%はいくつですか。

答え

(4) 300個中60個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は300です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 300の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 60%

100倍して%を付けます。

(2) 0.7

百分率を100でわります。

(3) 180

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 600

比べる量÷割合。

(6) 360

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.65を百分率で表しましょう。

答え

(2) 75%を小数で表しましょう。

答え

(3) 320の65%はいくつですか。

答え

(4) 320個中64個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は320です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 320の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 65%

100倍して%を付けます。

(2) 0.75

百分率を100でわります。

(3) 208

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 640

比べる量÷割合。

(6) 384

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 200ページの本の35%を読みました。何ページ読みましたか。

答え

(2) 40人のクラスで、16人が図書係を希望しました。クラス全体の何%ですか。

答え

(3) 定価1200円の品物が20%引きです。支払う金額はいくらですか。

答え

(4) ある数の25%は15です。もとの数を求めましょう。

答え

(5) 50個中10個の割合を「50÷10」としました。正しい式と百分率を書きましょう。

答え

(6) 昨年80人だったクラブの人数が、今年100人になりました。今年は昨年の何%ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 70ページ

もとの200ページに、割合0.35をかけます。

(2) 40%

比べる量16人を、もとの40人でわります。

(3) 960円

支払う割合は100−20=80%。1200×0.8。

(4) 60

もとにする量＝比べる量÷割合。15÷0.25。

(5) 10÷50=0.2=20%

もとにする量は全体の50個です。比べる量10個を50個でわります。

(6) 125%

もとは昨年の80人。100÷80=1.25。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 340ページの本の70%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 1700円の服を70%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 340個の品物のうち85個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が85人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年340人、今年408人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 340円の20%引きで、340×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 238ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 510円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 340人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 360ページの本の10%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 1800円の服を10%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 360個の品物のうち90個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が90人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年360人、今年432人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 360円の20%引きで、360×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 36ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 1620円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 360人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 380ページの本の15%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 1900円の服を15%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 380個の品物のうち95個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が95人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年380人、今年456人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 380円の20%引きで、380×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 57ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 1615円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 380人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 400ページの本の20%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 2000円の服を20%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 400個の品物のうち100個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が100人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年400人、今年480人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 400円の20%引きで、400×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 80ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 1600円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 400人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.2を百分率で表しましょう。

答え

(2) 30%を小数で表しましょう。

答え

(3) 140の20%はいくつですか。

答え

(4) 140個中28個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は140です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 140の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20%

100倍して%を付けます。

(2) 0.3

百分率を100でわります。

(3) 28

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 280

比べる量÷割合。

(6) 168

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.25を百分率で表しましょう。

答え

(2) 35%を小数で表しましょう。

答え

(3) 420の25%はいくつですか。

答え

(4) 420個中84個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は420です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 420の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25%

100倍して%を付けます。

(2) 0.35

百分率を100でわります。

(3) 105

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 840

比べる量÷割合。

(6) 504

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.3を百分率で表しましょう。

答え

(2) 40%を小数で表しましょう。

答え

(3) 440の30%はいくつですか。

答え

(4) 440個中88個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は440です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 440の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30%

100倍して%を付けます。

(2) 0.4

百分率を100でわります。

(3) 132

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 880

比べる量÷割合。

(6) 528

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.35を百分率で表しましょう。

答え

(2) 45%を小数で表しましょう。

答え

(3) 460の35%はいくつですか。

答え

(4) 460個中92個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は460です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 460の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35%

100倍して%を付けます。

(2) 0.45

百分率を100でわります。

(3) 161

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 920

比べる量÷割合。

(6) 552

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.4を百分率で表しましょう。

答え

(2) 50%を小数で表しましょう。

答え

(3) 480の40%はいくつですか。

答え

(4) 480個中96個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は480です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 480の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40%

100倍して%を付けます。

(2) 0.5

百分率を100でわります。

(3) 192

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 960

比べる量÷割合。

(6) 576

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.25を百分率で表しましょう。

答え

(2) 35%を小数で表しましょう。

答え

(3) 160の25%はいくつですか。

答え

(4) 160個中32個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は160です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 160の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25%

100倍して%を付けます。

(2) 0.35

百分率を100でわります。

(3) 40

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 320

比べる量÷割合。

(6) 192

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.45を百分率で表しましょう。

答え

(2) 55%を小数で表しましょう。

答え

(3) 500の45%はいくつですか。

答え

(4) 500個中100個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は500です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 500の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 45%

100倍して%を付けます。

(2) 0.55

百分率を100でわります。

(3) 225

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 1000

比べる量÷割合。

(6) 600

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.5を百分率で表しましょう。

答え

(2) 60%を小数で表しましょう。

答え

(3) 520の50%はいくつですか。

答え

(4) 520個中104個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は520です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 520の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 50%

100倍して%を付けます。

(2) 0.6

百分率を100でわります。

(3) 260

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 1040

比べる量÷割合。

(6) 624

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.55を百分率で表しましょう。

答え

(2) 65%を小数で表しましょう。

答え

(3) 540の55%はいくつですか。

答え

(4) 540個中108個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は540です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 540の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 55%

100倍して%を付けます。

(2) 0.65

百分率を100でわります。

(3) 297

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 1080

比べる量÷割合。

(6) 648

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 0.6を百分率で表しましょう。

答え

(2) 70%を小数で表しましょう。

答え

(3) 560の60%はいくつですか。

答え

(4) 560個中112個は何%ですか。

答え

(5) ある数の50%は560です。ある数を求めましょう。

答え

(6) 560の120%はいくつですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 60%

100倍して%を付けます。

(2) 0.7

百分率を100でわります。

(3) 336

もとにする量×割合。

(4) 20%

比べる量÷もとにする量×100。

(5) 1120

比べる量÷割合。

(6) 672

120%=1.2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 180ページの本の30%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 900円の服を30%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 180個の品物のうち45個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が45人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年180人、今年216人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 180円の20%引きで、180×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 54ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 630円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 180人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 580ページの本の65%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 2900円の服を65%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 580個の品物のうち145個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が145人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年580人、今年696人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 580円の20%引きで、580×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 377ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 1015円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 580人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 600ページの本の70%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3000円の服を70%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 600個の品物のうち150個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が150人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年600人、今年720人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 600円の20%引きで、600×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 420ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 900円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 600人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 620ページの本の10%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3100円の服を10%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 620個の品物のうち155個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が155人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年620人、今年744人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 620円の20%引きで、620×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 62ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2790円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 620人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 640ページの本の15%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3200円の服を15%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 640個の品物のうち160個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が160人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年640人、今年768人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 640円の20%引きで、640×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 96ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2720円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 640人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 200ページの本の35%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 1000円の服を35%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 200個の品物のうち50個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が50人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年200人、今年240人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 200円の20%引きで、200×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 70ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 650円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 200人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 660ページの本の20%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3300円の服を20%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 660個の品物のうち165個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が165人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年660人、今年792人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 660円の20%引きで、660×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 132ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2640円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 660人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 680ページの本の25%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3400円の服を25%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 680個の品物のうち170個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が170人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年680人、今年816人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 680円の20%引きで、680×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 170ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2550円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 680人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 700ページの本の30%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3500円の服を30%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 700個の品物のうち175個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が175人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年700人、今年840人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 700円の20%引きで、700×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 210ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2450円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 700人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

割合と百分率

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 割合＝比べる量÷もとにする量。百分率は割合を100倍し、%を付けます。

例 40人中10人なら、10÷40=0.25=25%です。

(1) 720ページの本の35%を読みました。何ページですか。

答え

(2) 3600円の服を35%引きで買います。支払う金額はいくらですか。

答え

(3) 720個の品物のうち180個が売れました。売れたのは何%ですか。

答え

(4) 定員の25%が180人です。定員は何人ですか。

答え

(5) 去年720人、今年864人です。今年は去年の何%ですか。

答え

(6) 720円の20%引きで、720×0.2は何を表しますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

割合と百分率 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 252ページ

全ページ数に割合をかけます。

(2) 2340円

支払う割合は100%から割引率をひいた割合。

(3) 25%

全体をもとにして比べます。

(4) 720人

もとの人数＝比べる人数÷割合。

(5) 120%

もとは去年の人数です。

(6) 値引きされる金額

支払う金額ではありません。支払う金額は、定価の80%です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 6、8、10 の平均を求めましょう。

答え

(2) 12、14、10、16 の平均を求めましょう。

答え

(3) 80、70、90 の平均を求めましょう。

答え

(4) 4、0、8 の平均を求めましょう。

答え

(5) 15、20、25、20 の平均を求めましょう。

答え

(6) 21、24、27、28 の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8

合計24を3でわります。

(2) 13

合計52を4でわります。

(3) 80

合計240を3でわります。

(4) 4

合計12を3でわります。

(5) 20

合計80を4でわります。

(6) 25

合計100を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 18、20、22の平均を求めましょう。

答え

(2) 18、22、24、28の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、18、36の平均を求めましょう。

答え

(4) 18、18、18、26の平均を求めましょう。

答え

(5) 15、21、24の平均を求めましょう。

答え

(6) 18、19、20、21の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20

合計60を3でわります。

(2) 23

合計92を4でわります。

(3) 18

合計54を3でわります。

(4) 20

合計80を4でわります。

(5) 20

合計60を3でわります。

(6) 19.5

合計78を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 19、21、23の平均を求めましょう。

答え

(2) 19、23、25、29の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、19、38の平均を求めましょう。

答え

(4) 19、19、19、27の平均を求めましょう。

答え

(5) 16、22、25の平均を求めましょう。

答え

(6) 19、20、21、22の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21

合計63を3でわります。

(2) 24

合計96を4でわります。

(3) 19

合計57を3でわります。

(4) 21

合計84を4でわります。

(5) 21

合計63を3でわります。

(6) 20.5

合計82を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 20、22、24の平均を求めましょう。

答え

(2) 20、24、26、30の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、20、40の平均を求めましょう。

答え

(4) 20、20、20、28の平均を求めましょう。

答え

(5) 17、23、26の平均を求めましょう。

答え

(6) 20、21、22、23の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22

合計66を3でわります。

(2) 25

合計100を4でわります。

(3) 20

合計60を3でわります。

(4) 22

合計88を4でわります。

(5) 22

合計66を3でわります。

(6) 21.5

合計86を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 21、23、25の平均を求めましょう。

答え

(2) 21、25、27、31の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、21、42の平均を求めましょう。

答え

(4) 21、21、21、29の平均を求めましょう。

答え

(5) 18、24、27の平均を求めましょう。

答え

(6) 21、22、23、24の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23

合計69を3でわります。

(2) 26

合計104を4でわります。

(3) 21

合計63を3でわります。

(4) 23

合計92を4でわります。

(5) 23

合計69を3でわります。

(6) 22.5

合計90を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 4日間で本を12、18、20、14ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回のテストの平均が80点でした。5回の合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が12点です。1回目10点、2回目14点なら、3回目は何点ですか。

答え

(4) 3日の売上が6個・0個・9個でした。「(6+9)÷2」で平均を求めてよいですか。正しく求めましょう。

答え

(5) 2人の平均が60点、別の3人の平均が80点です。5人全体の平均は何点ですか。

答え

(6) 長さを3回測ると、8.2cm、8.4cm、8.3cmでした。平均は何cmですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 16ページ

合計64ページを4日でわります。

(2) 400点

合計＝平均×回数。

(3) 12点

合計は12×3=36。わかっている24点をひきます。

(4) 5個

0個の日も1日です。(6+0+9)÷3=5。

(5) 72点

人数が違うので平均どうしをたして2でわりません。合計120+240を5でわります。

(6) 8.3cm

合計24.9cmを3でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に22、24、29ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が72点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が22点、1回目20点、2回目23点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は22個、3人の平均は27個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は22個、0個、44個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 22点と26点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 360点

平均×回数。

(3) 23点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 25個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 22個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に23、25、30ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が73点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が23点、1回目21点、2回目24点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は23個、3人の平均は28個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は23個、0個、46個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 23点と27点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 365点

平均×回数。

(3) 24点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 26個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 23個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に24、26、31ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が74点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が24点、1回目22点、2回目25点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は24個、3人の平均は29個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は24個、0個、48個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 24点と28点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 27ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 370点

平均×回数。

(3) 25点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 27個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 24個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に25、27、32ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が75点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が25点、1回目23点、2回目26点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は25個、3人の平均は30個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は25個、0個、50個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 25点と29点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 375点

平均×回数。

(3) 26点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 28個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 25個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 12、14、16の平均を求めましょう。

答え

(2) 12、16、18、22の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、12、24の平均を求めましょう。

答え

(4) 12、12、12、20の平均を求めましょう。

答え

(5) 9、15、18の平均を求めましょう。

答え

(6) 12、13、14、15の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　14

合計42を3でわります。

(2)　17

合計68を4でわります。

(3)　12

合計36を3でわります。

(4)　14

合計56を4でわります。

(5)　14

合計42を3でわります。

(6)　13.5

合計54を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 26、28、30の平均を求めましょう。

答え

(2) 26、30、32、36の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、26、52の平均を求めましょう。

答え

(4) 26、26、26、34の平均を求めましょう。

答え

(5) 23、29、32の平均を求めましょう。

答え

(6) 26、27、28、29の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28

合計84を3でわります。

(2) 31

合計124を4でわります。

(3) 26

合計78を3でわります。

(4) 28

合計112を4でわります。

(5) 28

合計84を3でわります。

(6) 27.5

合計110を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 27、29、31の平均を求めましょう。

答え

(2) 27、31、33、37の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、27、54の平均を求めましょう。

答え

(4) 27、27、27、35の平均を求めましょう。

答え

(5) 24、30、33の平均を求めましょう。

答え

(6) 27、28、29、30の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 29

合計87を3でわります。

(2) 32

合計128を4でわります。

(3) 27

合計81を3でわります。

(4) 29

合計116を4でわります。

(5) 29

合計87を3でわります。

(6) 28.5

合計114を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 28、30、32の平均を求めましょう。

答え

(2) 28、32、34、38の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、28、56の平均を求めましょう。

答え

(4) 28、28、28、36の平均を求めましょう。

答え

(5) 25、31、34の平均を求めましょう。

答え

(6) 28、29、30、31の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30

合計90を3でわります。

(2) 33

合計132を4でわります。

(3) 28

合計84を3でわります。

(4) 30

合計120を4でわります。

(5) 30

合計90を3でわります。

(6) 29.5

合計118を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 29、31、33の平均を求めましょう。

答え

(2) 29、33、35、39の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、29、58の平均を求めましょう。

答え

(4) 29、29、29、37の平均を求めましょう。

答え

(5) 26、32、35の平均を求めましょう。

答え

(6) 29、30、31、32の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 31

合計93を3でわります。

(2) 34

合計136を4でわります。

(3) 29

合計87を3でわります。

(4) 31

合計124を4でわります。

(5) 31

合計93を3でわります。

(6) 30.5

合計122を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 13、15、17の平均を求めましょう。

答え

(2) 13、17、19、23の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、13、26の平均を求めましょう。

答え

(4) 13、13、13、21の平均を求めましょう。

答え

(5) 10、16、19の平均を求めましょう。

答え

(6) 13、14、15、16の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　15

合計45を3でわります。

(2)　18

合計72を4でわります。

(3)　13

合計39を3でわります。

(4)　15

合計60を4でわります。

(5)　15

合計45を3でわります。

(6)　14.5

合計58を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 30、32、34の平均を求めましょう。

答え

(2) 30、34、36、40の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、30、60の平均を求めましょう。

答え

(4) 30、30、30、38の平均を求めましょう。

答え

(5) 27、33、36の平均を求めましょう。

答え

(6) 30、31、32、33の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 32

合計96を3でわります。

(2) 35

合計140を4でわります。

(3) 30

合計90を3でわります。

(4) 32

合計128を4でわります。

(5) 32

合計96を3でわります。

(6) 31.5

合計126を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 31、33、35の平均を求めましょう。

答え

(2) 31、35、37、41の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、31、62の平均を求めましょう。

答え

(4) 31、31、31、39の平均を求めましょう。

答え

(5) 28、34、37の平均を求めましょう。

答え

(6) 31、32、33、34の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 33

合計99を3でわります。

(2) 36

合計144を4でわります。

(3) 31

合計93を3でわります。

(4) 33

合計132を4でわります。

(5) 33

合計99を3でわります。

(6) 32.5

合計130を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 32、34、36の平均を求めましょう。

答え

(2) 32、36、38、42の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、32、64の平均を求めましょう。

答え

(4) 32、32、32、40の平均を求めましょう。

答え

(5) 29、35、38の平均を求めましょう。

答え

(6) 32、33、34、35の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 34

合計102を3でわります。

(2) 37

合計148を4でわります。

(3) 32

合計96を3でわります。

(4) 34

合計136を4でわります。

(5) 34

合計102を3でわります。

(6) 33.5

合計134を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 33、35、37の平均を求めましょう。

答え

(2) 33、37、39、43の平均を求めましょう。

答え

(3) 0、33、66の平均を求めましょう。

答え

(4) 33、33、33、41の平均を求めましょう。

答え

(5) 30、36、39の平均を求めましょう。

答え

(6) 33、34、35、36の平均を求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35

合計105を3でわります。

(2) 38

合計152を4でわります。

(3) 33

合計99を3でわります。

(4) 35

合計140を4でわります。

(5) 35

合計105を3でわります。

(6) 34.5

合計138を4でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に14、16、21ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が64点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が14点、1回目12点、2回目15点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は14個、3人の平均は19個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は14個、0個、28個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 14点と18点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 17ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 320点

平均×回数。

(3) 15点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 17個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 14個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に34、36、41ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が84点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が34点、1回目32点、2回目35点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は34個、3人の平均は39個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は34個、0個、68個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 34点と38点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 37ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 420点

平均×回数。

(3) 35点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 37個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 34個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に35、37、42ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が85点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が35点、1回目33点、2回目36点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は35個、3人の平均は40個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は35個、0個、70個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 35点と39点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 38ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 425点

平均×回数。

(3) 36点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 38個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 35個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に36、38、43ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が86点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が36点、1回目34点、2回目37点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は36個、3人の平均は41個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は36個、0個、72個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 36点と40点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 39ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 430点

平均×回数。

(3) 37点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 39個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 36個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に37、39、44ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が87点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が37点、1回目35点、2回目38点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は37個、3人の平均は42個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は37個、0個、74個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 37点と41点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 435点

平均×回数。

(3) 38点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 40個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 37個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に15、17、22ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が65点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が15点、1回目13点、2回目16点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は15個、3人の平均は20個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は15個、0個、30個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 15点と19点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 325点

平均×回数。

(3) 16点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 18個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 15個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に38、40、45ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が88点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が38点、1回目36点、2回目39点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は38個、3人の平均は43個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は38個、0個、76個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 38点と42点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 41ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 440点

平均×回数。

(3) 39点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 41個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 38個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に39、41、46ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が89点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が39点、1回目37点、2回目40点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は39個、3人の平均は44個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は39個、0個、78個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 39点と43点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 42ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 445点

平均×回数。

(3) 40点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 42個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 39個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に40、42、47ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が90点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が40点、1回目38点、2回目41点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は40個、3人の平均は45個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は40個、0個、80個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 40点と44点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 43ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 450点

平均×回数。

(3) 41点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 43個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 40個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

平均

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 平均＝合計÷個数。平均×個数＝合計。記録が0でも、その回を個数に入れます。

例 3日間の読書が20分・30分・10分なら、(20+30+10)÷3=20分です。

(1) 3日間に41、43、48ページ読みました。1日平均何ページですか。

答え

(2) 5回の平均が91点でした。合計は何点ですか。

答え

(3) 3回の平均が41点、1回目39点、2回目42点です。3回目は何点ですか。

答え

(4) 2人の平均は41個、3人の平均は46個です。5人全体の平均は何個ですか。

答え

(5) 3日間の売上は41個、0個、82個でした。1日平均何個ですか。

答え

(6) 41点と45点の平均を求めるとき、合計を何でわりますか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

平均 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 44ページ

3日分の合計を3でわります。

(2) 455点

平均×回数。

(3) 42点

合計から、わかっている2回分をひきます。

(4) 44個

それぞれの合計を求め、全体の人数でわります。

(5) 41個

0個の日も1日として数えます。

(6) 2

データが2個だからです。値の大きさではなく個数でわります。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

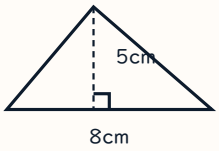
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

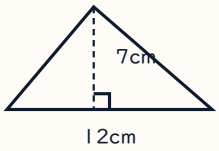
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺8cm、高さ5cmの三角形の面積は何cm²ですか。



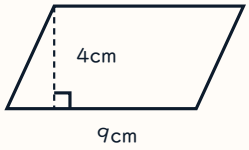
答え

(2) 底辺12cm、高さ7cmの三角形の面積は何cm²ですか。



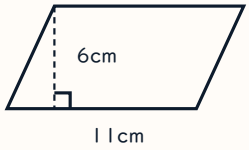
答え

(3) 底辺9cm、高さ4cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



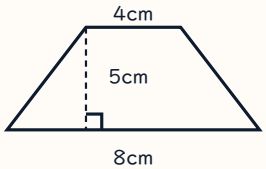
答え

(4) 底辺11cm、高さ6cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



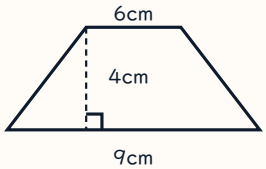
答え

(5) 上底4cm、下底8cm、高さ5cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底6cm、下底9cm、高さ4cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 42cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 36cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 66cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 30cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(4+8)×5÷2。

(6) 30cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(6+9)×4÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____ もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

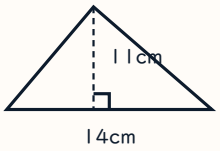
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

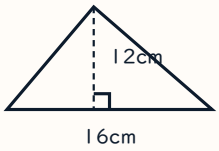
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺14cm、高さ11cmの三角形の面積は何cm²ですか。



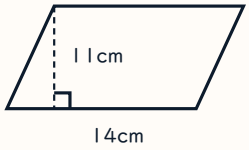
答え

(2) 底辺16cm、高さ12cmの三角形の面積は何cm²ですか。



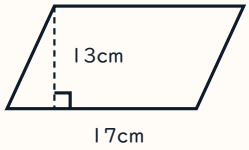
答え

(3) 底辺14cm、高さ11cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



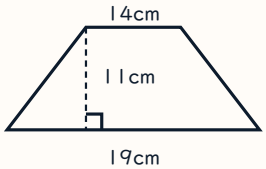
答え

(4) 底辺17cm、高さ13cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



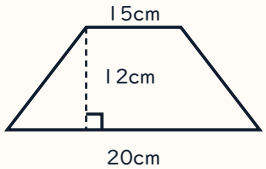
答え

(5) 上底14cm、下底19cm、高さ11cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底15cm、下底20cm、高さ12cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 77cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 96cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 154cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 221cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 181.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(14+19)×11÷2。

(6) 210cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(15+20)×12÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

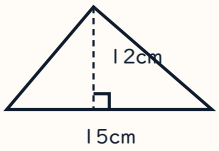
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

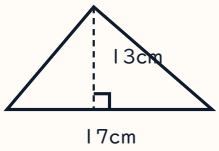
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺15cm、高さ12cmの三角形の面積は何cm²ですか。



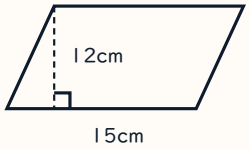
答え

(2) 底辺17cm、高さ13cmの三角形の面積は何cm²ですか。



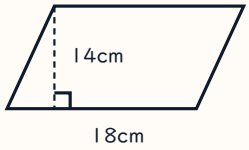
答え

(3) 底辺15cm、高さ12cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



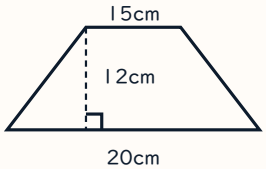
答え

(4) 底辺18cm、高さ14cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



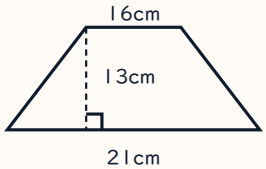
答え

(5) 上底15cm、下底20cm、高さ12cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底16cm、下底21cm、高さ13cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 90cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 110.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 180cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 252cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 210cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(15+20)×12÷2。

(6) 240.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(16+21)×13÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

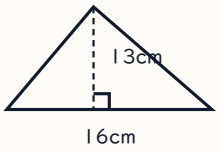
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

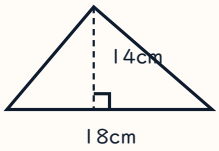
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺16cm、高さ13cmの三角形の面積は何cm²ですか。



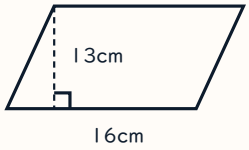
答え

(2) 底辺18cm、高さ14cmの三角形の面積は何cm²ですか。



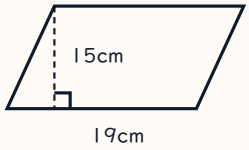
答え

(3) 底辺16cm、高さ13cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



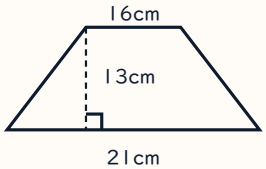
答え

(4) 底辺19cm、高さ15cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



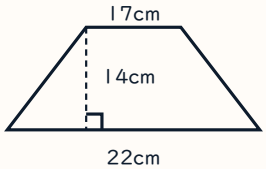
答え

(5) 上底16cm、下底21cm、高さ13cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底17cm、下底22cm、高さ14cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 104cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 126cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 208cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 285cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 240.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(16+21)×13÷2。

(6) 273cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(17+22)×14÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

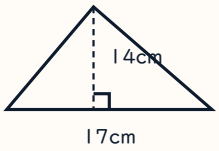
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

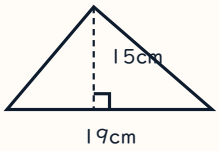
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺17cm、高さ14cmの三角形の面積は何cm²ですか。



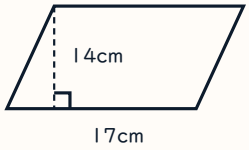
答え

(2) 底辺19cm、高さ15cmの三角形の面積は何cm²ですか。



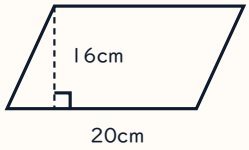
答え

(3) 底辺17cm、高さ14cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



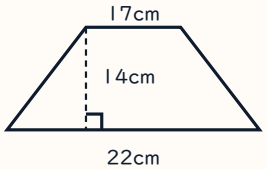
答え

(4) 底辺20cm、高さ16cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



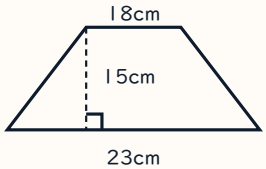
答え

(5) 上底17cm、下底22cm、高さ14cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底18cm、下底23cm、高さ15cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 119cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 142.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 238cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 320cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 273cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(17+22)×14÷2。

(6) 307.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(18+23)×15÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 三角形の面積は24cm²、底辺は8cmです。高さは何cmですか。

答え

(2) 平行四辺形の面積は54cm²、高さは6cmです。底辺は何cmですか。

答え

(3) 底辺10cm、高さ6cmの三角形を「10×6=60cm²」としました。正しく直しましょう。

答え

(4) 底辺7cm、高さ4cmの三角形を2枚、重ねずに並べます。面積の合計は何cm²ですか。

答え

(5) 上底5cm、下底11cm、高さ4cmの台形の面積を求めましょう。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は8cm、斜めの辺は5cm、高さは4cmです。面積は8×5で求められますか。正しく求めましょう。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 6cm

面積を2倍すると底辺×高さ。24×2÷8。

(2) 9cm

底辺＝面積÷高さ。

(3) 30cm²

同じ底辺と高さの平行四辺形の半分なので、10×6÷2です。

(4) 28cm²

1枚14cm²。2枚なので14×2。

(5) 32cm²

(5+11)×4÷2。

(6) 32cm²

斜めの辺ではなく、底辺に垂直な高さ4cmを使って8×4。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺18m、高さ15mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積270cm²、底辺18cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積270cm²、高さ15cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底18m、下底22m、高さ15mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺18cm、高さ15cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は18cm、斜めの辺は17cm、高さは15cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 135m²

底辺×高さ÷2。

(2) 30cm

面積×2÷底辺。

(3) 18cm

面積÷高さ。

(4) 300m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 405cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。18×15=270cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺19m、高さ16mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積304cm²、底辺19cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積304cm²、高さ16cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底19m、下底23m、高さ16mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺19cm、高さ16cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は19cm、斜めの辺は18cm、高さは16cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 152m²

底辺×高さ÷2。

(2) 32cm

面積×2÷底辺。

(3) 19cm

面積÷高さ。

(4) 336m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 456cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。19×16=304cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺20m、高さ17mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積340cm²、底辺20cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積340cm²、高さ17cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底20m、下底24m、高さ17mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺20cm、高さ17cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は20cm、斜めの辺は19cm、高さは17cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 170m²

底辺×高さ÷2。

(2) 34cm

面積×2÷底辺。

(3) 20cm

面積÷高さ。

(4) 374m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 510cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。20×17=340cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺21m、高さ18mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積378cm²、底辺21cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積378cm²、高さ18cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底21m、下底25m、高さ18mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺21cm、高さ18cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は21cm、斜めの辺は20cm、高さは18cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 189m²

底辺×高さ÷2。

(2) 36cm

面積×2÷底辺。

(3) 21cm

面積÷高さ。

(4) 414m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 567cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。21×18=378cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

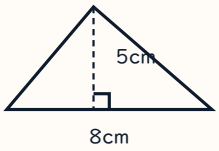
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

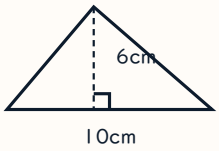
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺8cm、高さ5cmの三角形の面積は何cm²ですか。



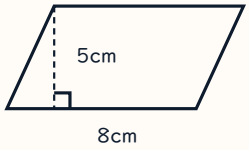
答え

(2) 底辺10cm、高さ6cmの三角形の面積は何cm²ですか。



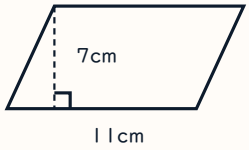
答え

(3) 底辺8cm、高さ5cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



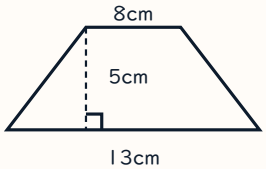
答え

(4) 底辺11cm、高さ7cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



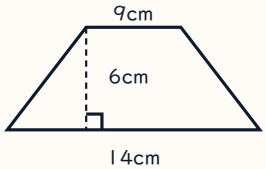
答え

(5) 上底8cm、下底13cm、高さ5cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底9cm、下底14cm、高さ6cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 30cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 40cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 77cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 52.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(8+13)×5÷2。

(6) 69cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(9+14)×6÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

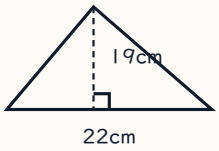
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

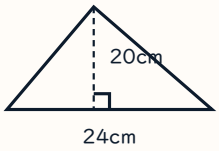
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺22cm、高さ19cmの三角形の面積は何cm²ですか。



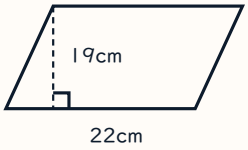
答え

(2) 底辺24cm、高さ20cmの三角形の面積は何cm²ですか。



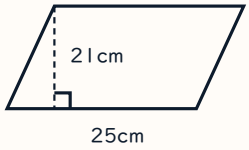
答え

(3) 底辺22cm、高さ19cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



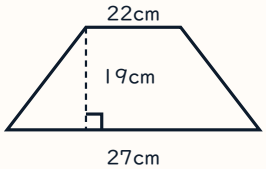
答え

(4) 底辺25cm、高さ21cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



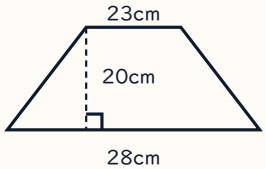
答え

(5) 上底22cm、下底27cm、高さ19cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底23cm、下底28cm、高さ20cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 209cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 240cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 418cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 525cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 465.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(22+27)×19÷2。

(6) 510cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(23+28)×20÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

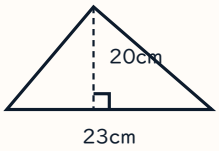
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

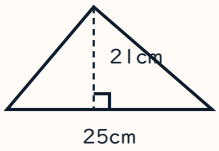
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺23cm、高さ20cmの三角形の面積は何cm²ですか。



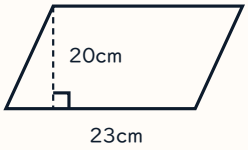
答え

(2) 底辺25cm、高さ21cmの三角形の面積は何cm²ですか。



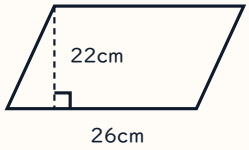
答え

(3) 底辺23cm、高さ20cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



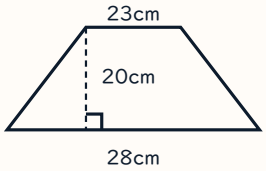
答え

(4) 底辺26cm、高さ22cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



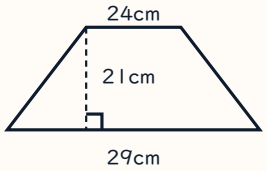
答え

(5) 上底23cm、下底28cm、高さ20cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底24cm、下底29cm、高さ21cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 230cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 262.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 460cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 572cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 510cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(23+28)×20÷2。

(6) 556.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(24+29)×21÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

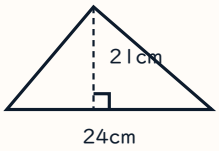
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

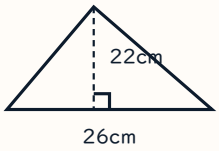
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺24cm、高さ21cmの三角形の面積は何cm²ですか。



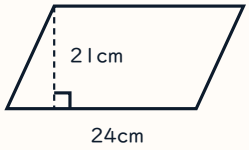
答え

(2) 底辺26cm、高さ22cmの三角形の面積は何cm²ですか。



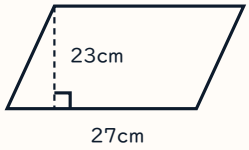
答え

(3) 底辺24cm、高さ21cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



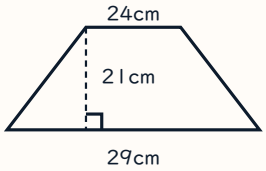
答え

(4) 底辺27cm、高さ23cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



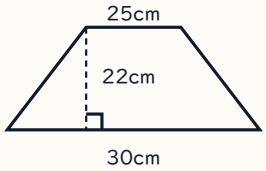
答え

(5) 上底24cm、下底29cm、高さ21cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底25cm、下底30cm、高さ22cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 252cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 286cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 504cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 621cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 556.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(24+29)×21÷2。

(6) 605cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(25+30)×22÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

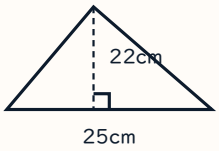
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

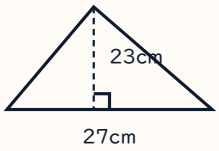
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺25cm、高さ22cmの三角形の面積は何cm²ですか。



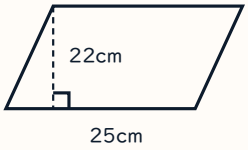
答え

(2) 底辺27cm、高さ23cmの三角形の面積は何cm²ですか。



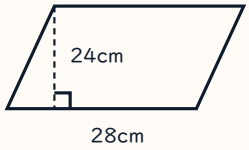
答え

(3) 底辺25cm、高さ22cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



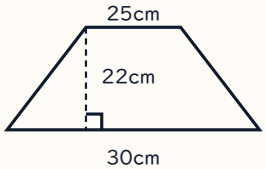
答え

(4) 底辺28cm、高さ24cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



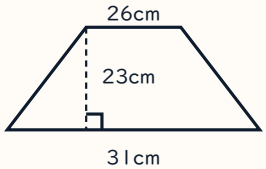
答え

(5) 上底25cm、下底30cm、高さ22cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底26cm、下底31cm、高さ23cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 275cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 310.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 550cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 672cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 605cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(25+30)×22÷2。

(6) 655.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(26+31)×23÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

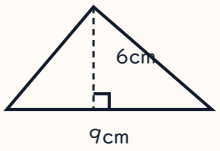
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

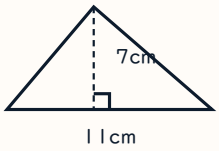
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺9cm、高さ6cmの三角形の面積は何cm²ですか。



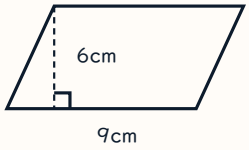
答え

(2) 底辺11cm、高さ7cmの三角形の面積は何cm²ですか。



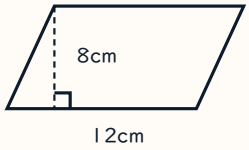
答え

(3) 底辺9cm、高さ6cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



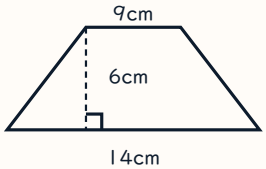
答え

(4) 底辺12cm、高さ8cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



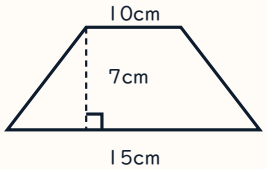
答え

(5) 上底9cm、下底14cm、高さ6cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底10cm、下底15cm、高さ7cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 27cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 38.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 54cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 96cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 69cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(9+14)×6÷2。

(6) 87.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(10+15)×7÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

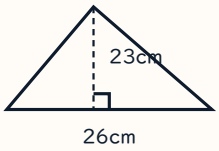
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

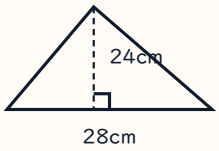
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺26cm、高さ23cmの三角形の面積は何cm²ですか。



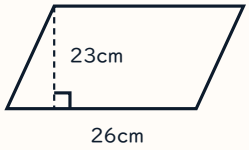
答え

(2) 底辺28cm、高さ24cmの三角形の面積は何cm²ですか。



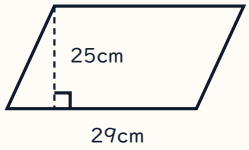
答え

(3) 底辺26cm、高さ23cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



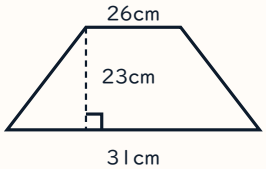
答え

(4) 底辺29cm、高さ25cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



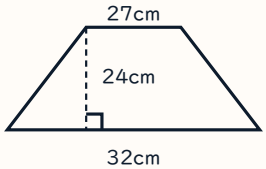
答え

(5) 上底26cm、下底31cm、高さ23cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底27cm、下底32cm、高さ24cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 299cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 336cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 598cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 725cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 655.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(26+31)×23÷2。

(6) 708cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(27+32)×24÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

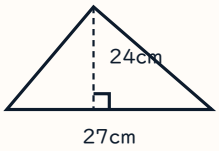
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

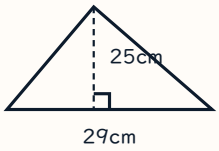
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺27cm、高さ24cmの三角形の面積は何cm²ですか。



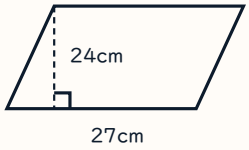
答え

(2) 底辺29cm、高さ25cmの三角形の面積は何cm²ですか。



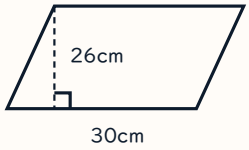
答え

(3) 底辺27cm、高さ24cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



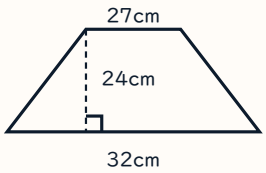
答え

(4) 底辺30cm、高さ26cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



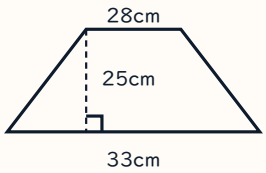
答え

(5) 上底27cm、下底32cm、高さ24cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底28cm、下底33cm、高さ25cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 324cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 362.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 648cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 780cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 708cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(27+32)×24÷2。

(6) 762.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(28+33)×25÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

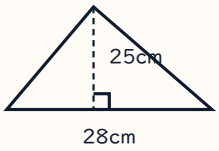
三角形・四角形の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

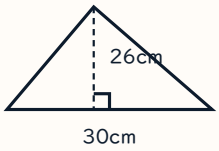
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺28cm、高さ25cmの三角形の面積は何cm²ですか。



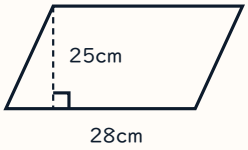
答え

(2) 底辺30cm、高さ26cmの三角形の面積は何cm²ですか。



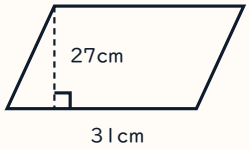
答え

(3) 底辺28cm、高さ25cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



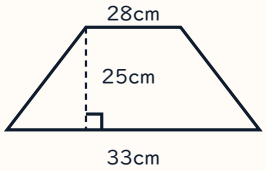
答え

(4) 底辺31cm、高さ27cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



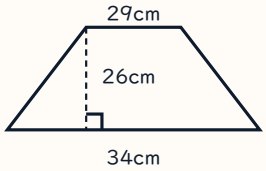
答え

(5) 上底28cm、下底33cm、高さ25cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底29cm、下底34cm、高さ26cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 350cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 390cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 700cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 837cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 762.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(28+33)×25÷2。

(6) 819cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(29+34)×26÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

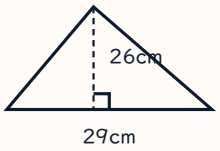
三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

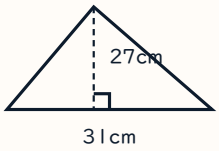
例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺29cm、高さ26cmの三角形の面積は何cm²ですか。



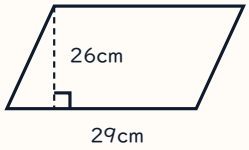
答え

(2) 底辺31cm、高さ27cmの三角形の面積は何cm²ですか。



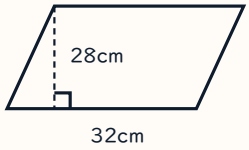
答え

(3) 底辺29cm、高さ26cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



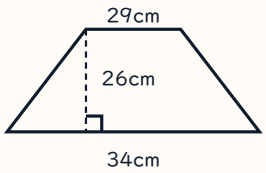
答え

(4) 底辺32cm、高さ28cmの平行四辺形の面積は何cm²ですか。



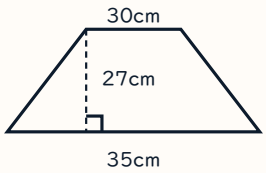
答え

(5) 上底29cm、下底34cm、高さ26cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

(6) 上底30cm、下底35cm、高さ27cmの台形の面積は何cm²ですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 377cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(2) 418.5cm²

底辺×高さ÷2を計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(3) 754cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(4) 896cm²

底辺×高さを計算します。高さは底辺に垂直な長さです。

(5) 819cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(29+34)×26÷2。

(6) 877.5cm²

(上底+下底)×高さ÷2=(30+35)×27÷2。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺10m、高さ7mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積70cm²、底辺10cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積70cm²、高さ7cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底10m、下底14m、高さ7mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺10cm、高さ7cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は10cm、斜めの辺は9cm、高さは7cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35m²

底辺×高さ÷2。

(2) 14cm

面積×2÷底辺。

(3) 10cm

面積÷高さ。

(4) 84m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 105cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。10×7=70cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺30m、高さ27mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積810cm²、底辺30cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積810cm²、高さ27cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底30m、下底34m、高さ27mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺30cm、高さ27cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は30cm、斜めの辺は29cm、高さは27cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 405m²

底辺×高さ÷2。

(2) 54cm

面積×2÷底辺。

(3) 30cm

面積÷高さ。

(4) 864m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1215cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。30×27=810cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺31m、高さ28mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積868cm²、底辺31cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積868cm²、高さ28cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底31m、下底35m、高さ28mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺31cm、高さ28cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は31cm、斜めの辺は30cm、高さは28cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 434m²

底辺×高さ÷2。

(2) 56cm

面積×2÷底辺。

(3) 31cm

面積÷高さ。

(4) 924m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1302cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。31×28=868cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺32m、高さ29mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積928cm²、底辺32cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積928cm²、高さ29cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底32m、下底36m、高さ29mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺32cm、高さ29cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は32cm、斜めの辺は31cm、高さは29cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 464m²

底辺×高さ÷2。

(2) 58cm

面積×2÷底辺。

(3) 32cm

面積÷高さ。

(4) 986m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1392cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。32×29=928cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺33m、高さ30mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積990cm²、底辺33cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積990cm²、高さ30cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底33m、下底37m、高さ30mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺33cm、高さ30cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は33cm、斜めの辺は32cm、高さは30cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 495m²

底辺×高さ÷2。

(2) 60cm

面積×2÷底辺。

(3) 33cm

面積÷高さ。

(4) 1050m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1485cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。33×30=990cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺11m、高さ8mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積88cm²、底辺11cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積88cm²、高さ8cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底11m、下底15m、高さ8mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺11cm、高さ8cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は11cm、斜めの辺は10cm、高さは8cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 44m²

底辺×高さ÷2。

(2) 16cm

面積×2÷底辺。

(3) 11cm

面積÷高さ。

(4) 104m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 132cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。11×8=88cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺34m、高さ31mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積1054cm²、底辺34cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積1054cm²、高さ31cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底34m、下底38m、高さ31mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺34cm、高さ31cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は34cm、斜めの辺は33cm、高さは31cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 527m²

底辺×高さ÷2。

(2) 62cm

面積×2÷底辺。

(3) 34cm

面積÷高さ。

(4) 1116m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1581cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。34×31＝1054cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺35m、高さ32mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積1120cm²、底辺35cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積1120cm²、高さ32cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底35m、下底39m、高さ32mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺35cm、高さ32cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は35cm、斜めの辺は34cm、高さは32cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 560m²

底辺×高さ÷2。

(2) 64cm

面積×2÷底辺。

(3) 35cm

面積÷高さ。

(4) 1184m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1680cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。35×32=1120cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺36m、高さ33mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積1188cm²、底辺36cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積1188cm²、高さ33cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底36m、下底40m、高さ33mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺36cm、高さ33cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は36cm、斜めの辺は35cm、高さは33cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 594m²

底辺×高さ÷2。

(2) 66cm

面積×2÷底辺。

(3) 36cm

面積÷高さ。

(4) 1254m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1782cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。36×33=1188cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

三角形・四角形の面積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 三角形は底辺×高さ÷2。平行四辺形は底辺×高さ。台形は(上底+下底)×高さ÷2。

例 底辺8cm、高さ5cmの三角形は、8×5÷2=20cm²。図は実際の長さではありません。

(1) 底辺37m、高さ34mの三角形の花だんの面積を求めましょう。

答え

(2) 面積1258cm²、底辺37cmの三角形の高さを求めましょう。

答え

(3) 面積1258cm²、高さ34cmの平行四辺形の底辺は何cmですか。

答え

(4) 上底37m、下底41m、高さ34mの台形の土地の面積を求めましょう。

答え

(5) 底辺37cm、高さ34cmの三角形3枚の面積の合計は何cm²ですか。

答え

(6) 平行四辺形の底辺は37cm、斜めの辺は36cm、高さは34cmです。面積に使うのは高さと斜めの辺のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

三角形・四角形の面積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 629m²

底辺×高さ÷2。

(2) 68cm

面積×2÷底辺。

(3) 37cm

面積÷高さ。

(4) 1326m²

(上底+下底)×高さ÷2。

(5) 1887cm²

1枚分を求めて3倍します。

(6) 高さ

底辺に垂直な高さを使います。37×34=1258cm²。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

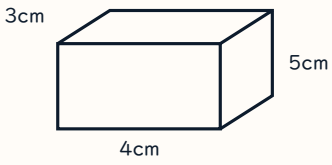
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

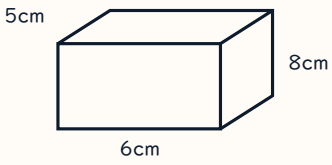
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体の体積を求めましょう。



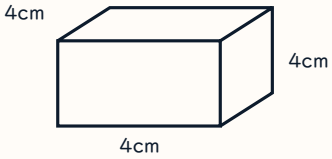
答え

(2) たて5cm、横6cm、高さ8cmの直方体の体積を求めましょう。



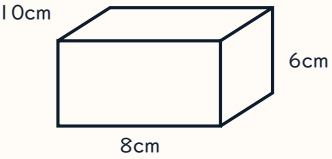
答え

(3) たて4cm、横4cm、高さ4cmの直方体の体積を求めましょう。



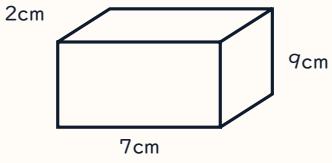
答え

(4) たて10cm、横8cm、高さ6cmの直方体の体積を求めましょう。



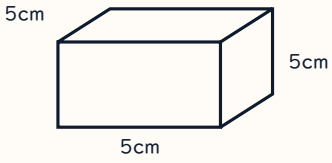
答え

(5) たて2cm、横7cm、高さ9cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて5cm、横5cm、高さ5cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 60cm³

たて×横×高さ=3×4×5。

(2) 240cm³

たて×横×高さ=5×6×8。

(3) 64cm³

たて×横×高さ=4×4×4。

(4) 480cm³

たて×横×高さ=10×8×6。

(5) 126cm³

たて×横×高さ=2×7×9。

(6) 125cm³

たて×横×高さ=5×5×5。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

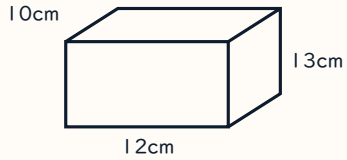
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

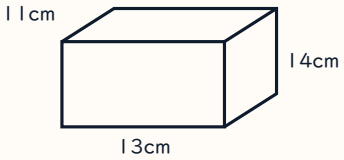
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて10cm、横12cm、高さ13cmの直方体の体積を求めましょう。



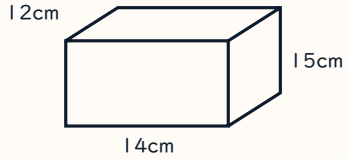
答え

(2) たて11cm、横13cm、高さ14cmの直方体の体積を求めましょう。



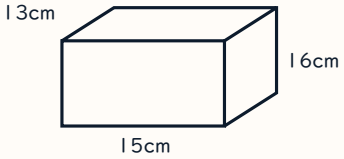
答え

(3) たて12cm、横14cm、高さ15cmの直方体の体積を求めましょう。



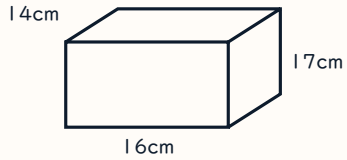
答え

(4) たて13cm、横15cm、高さ16cmの直方体の体積を求めましょう。



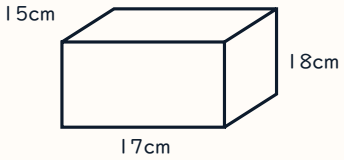
答え

(5) たて14cm、横16cm、高さ17cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて15cm、横17cm、高さ18cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 1560cm³

たて×横×高さ＝10×12×13。

(2) 2002cm³

たて×横×高さ＝11×13×14。

(3) 2520cm³

たて×横×高さ＝12×14×15。

(4) 3120cm³

たて×横×高さ＝13×15×16。

(5) 3808cm³

たて×横×高さ＝14×16×17。

(6) 4590cm³

たて×横×高さ＝15×17×18。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

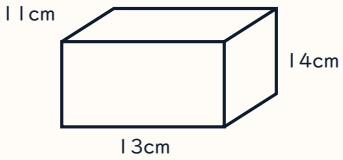
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

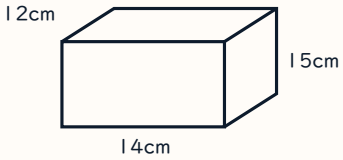
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて11cm、横13cm、高さ14cmの直方体の体積を求めましょう。



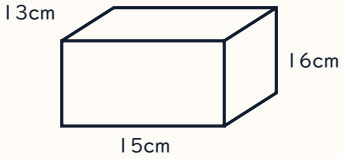
答え

(2) たて12cm、横14cm、高さ15cmの直方体の体積を求めましょう。



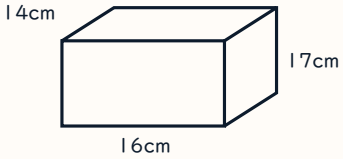
答え

(3) たて13cm、横15cm、高さ16cmの直方体の体積を求めましょう。



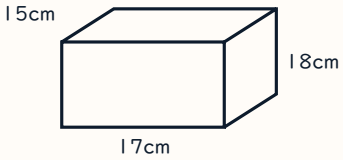
答え

(4) たて14cm、横16cm、高さ17cmの直方体の体積を求めましょう。



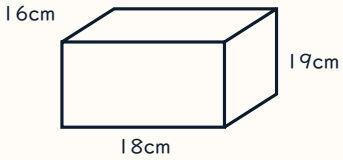
答え

(5) たて15cm、横17cm、高さ18cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて16cm、横18cm、高さ19cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2002cm³

たて×横×高さ＝11×13×14。

(2) 2520cm³

たて×横×高さ＝12×14×15。

(3) 3120cm³

たて×横×高さ＝13×15×16。

(4) 3808cm³

たて×横×高さ＝14×16×17。

(5) 4590cm³

たて×横×高さ＝15×17×18。

(6) 5472cm³

たて×横×高さ＝16×18×19。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

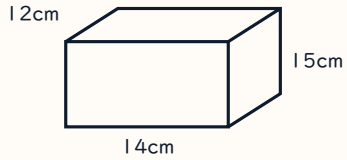
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

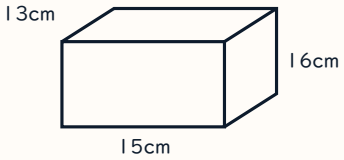
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて12cm、横14cm、高さ15cmの直方体の体積を求めましょう。



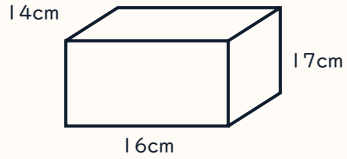
答え

(2) たて13cm、横15cm、高さ16cmの直方体の体積を求めましょう。



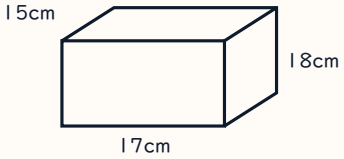
答え

(3) たて14cm、横16cm、高さ17cmの直方体の体積を求めましょう。



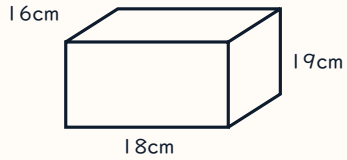
答え

(4) たて15cm、横17cm、高さ18cmの直方体の体積を求めましょう。



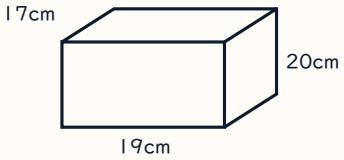
答え

(5) たて16cm、横18cm、高さ19cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて17cm、横19cm、高さ20cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2520cm³

たて×横×高さ＝12×14×15。

(2) 3120cm³

たて×横×高さ＝13×15×16。

(3) 3808cm³

たて×横×高さ＝14×16×17。

(4) 4590cm³

たて×横×高さ＝15×17×18。

(5) 5472cm³

たて×横×高さ＝16×18×19。

(6) 6460cm³

たて×横×高さ＝17×19×20。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

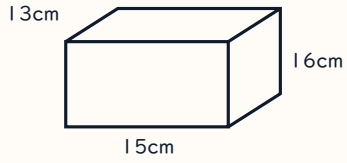
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

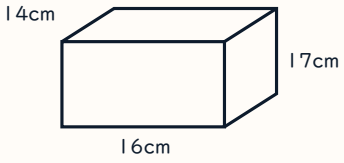
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて13cm、横15cm、高さ16cmの直方体の体積を求めましょう。



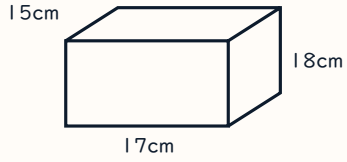
答え

(2) たて14cm、横16cm、高さ17cmの直方体の体積を求めましょう。



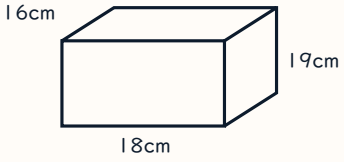
答え

(3) たて15cm、横17cm、高さ18cmの直方体の体積を求めましょう。



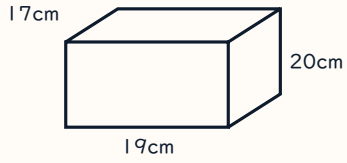
答え

(4) たて16cm、横18cm、高さ19cmの直方体の体積を求めましょう。



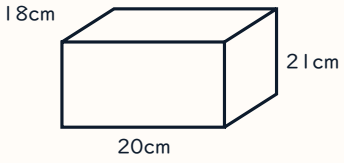
答え

(5) たて17cm、横19cm、高さ20cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて18cm、横20cm、高さ21cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 3120cm³

たて×横×高さ＝13×15×16。

(2) 3808cm³

たて×横×高さ＝14×16×17。

(3) 4590cm³

たて×横×高さ＝15×17×18。

(4) 5472cm³

たて×横×高さ＝16×18×19。

(5) 6460cm³

たて×横×高さ＝17×19×20。

(6) 7560cm³

たて×横×高さ＝18×20×21。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 底面がたて10cm、横20cmの水そうに、深さ5cmまで水を入れました。水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積120cm³、たて4cm、横6cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 2500cm³は何Lですか。

答え

(4) 一辺4cmの立方体の体積を「4×3＝12cm³」としました。正しく直しましょう。

答え

(5) 1Lの水に600cm³の水を加えます。合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて4cm、横5cm、高さ6cmの直方体で、高さだけを2倍にします。新しい体積は何cm³ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 1000cm³

水の深さを高さとして使います。

(2) 5cm

底面1段分は4×6=24cm²。120÷24。

(3) 2.5L

1L=1000cm³なので、1000でわります。

(4) 64cm³

4を3倍するのではなく、4×4×4を計算します。

(5) 1600cm³

1L=1000cm³にそろえます。

(6) 240cm³

高さは12cm。4×5×12、または元の体積を2倍。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて14cm、横16cm。水の深さ17cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積3808cm³、たて14cm、横16cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 14500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 14.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺14cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて14cm、横16cm、高さ17cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 3808cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 17cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 14.5L

1L＝1000cm³。

(4) 14500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 5488cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて15cm、横17cm。水の深さ18cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積4590cm³、たて15cm、横17cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 15500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 15.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺15cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて15cm、横17cm、高さ18cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4590cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 18cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 15.5L

1L＝1000cm³。

(4) 15500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 6750cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて16cm、横18cm。水の深さ19cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積5472cm³、たて16cm、横18cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 16500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 16.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺16cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて16cm、横18cm、高さ19cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 5472cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 19cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 16.5L

1L＝1000cm³。

(4) 16500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 8192cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて17cm、横19cm。水の深さ20cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積6460cm³、たて17cm、横19cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 17500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 17.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺17cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて17cm、横19cm、高さ20cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6460cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 20cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 17.5L

1L＝1000cm³。

(4) 17500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 9826cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

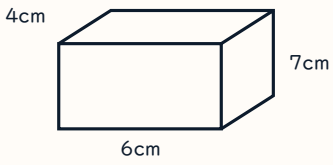
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

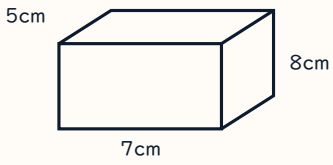
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて4cm、横6cm、高さ7cmの直方体の体積を求めましょう。



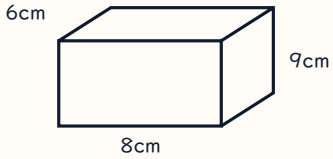
答え

(2) たて5cm、横7cm、高さ8cmの直方体の体積を求めましょう。



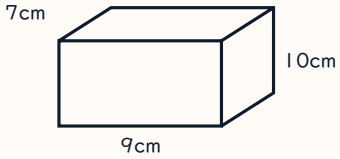
答え

(3) たて6cm、横8cm、高さ9cmの直方体の体積を求めましょう。



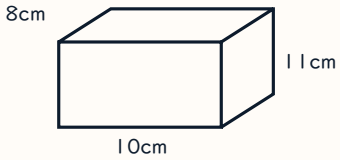
答え

(4) たて7cm、横9cm、高さ10cmの直方体の体積を求めましょう。



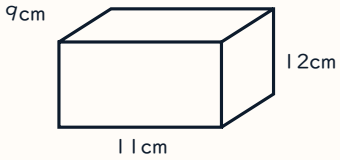
答え

(5) たて8cm、横10cm、高さ11cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて9cm、横11cm、高さ12cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 168cm³

たて×横×高さ=4×6×7。

(2) 280cm³

たて×横×高さ=5×7×8。

(3) 432cm³

たて×横×高さ=6×8×9。

(4) 630cm³

たて×横×高さ=7×9×10。

(5) 880cm³

たて×横×高さ=8×10×11。

(6) 1188cm³

たて×横×高さ=9×11×12。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

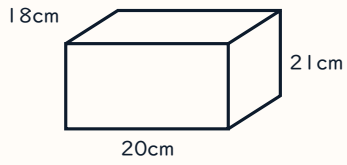
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

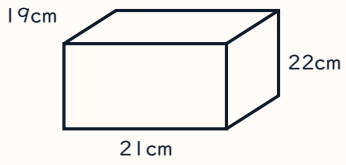
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて18cm、横20cm、高さ21cmの直方体の体積を求めましょう。



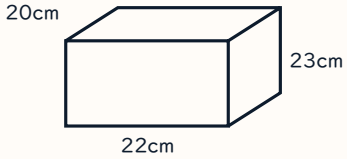
答え

(2) たて19cm、横21cm、高さ22cmの直方体の体積を求めましょう。



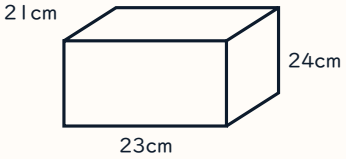
答え

(3) たて20cm、横22cm、高さ23cmの直方体の体積を求めましょう。



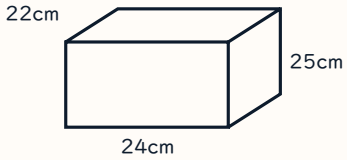
答え

(4) たて21cm、横23cm、高さ24cmの直方体の体積を求めましょう。



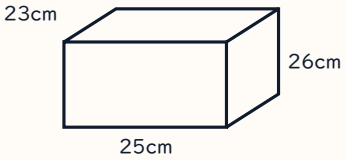
答え

(5) たて22cm、横24cm、高さ25cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 7560cm³

たて×横×高さ=18×20×21。

(2) 8778cm³

たて×横×高さ=19×21×22。

(3) 10120cm³

たて×横×高さ=20×22×23。

(4) 11592cm³

たて×横×高さ=21×23×24。

(5) 13200cm³

たて×横×高さ=22×24×25。

(6) 14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

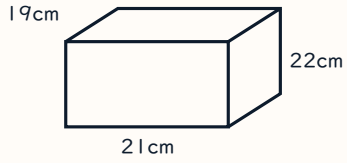
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

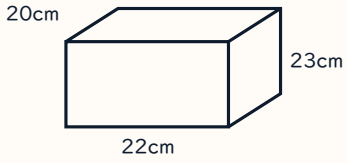
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて19cm、横21cm、高さ22cmの直方体の体積を求めましょう。



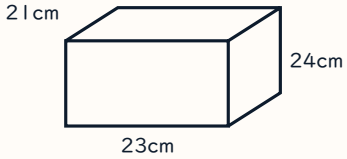
答え

(2) たて20cm、横22cm、高さ23cmの直方体の体積を求めましょう。



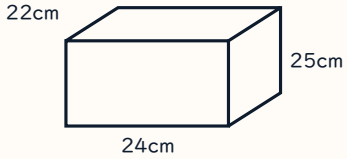
答え

(3) たて21cm、横23cm、高さ24cmの直方体の体積を求めましょう。



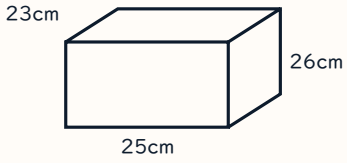
答え

(4) たて22cm、横24cm、高さ25cmの直方体の体積を求めましょう。



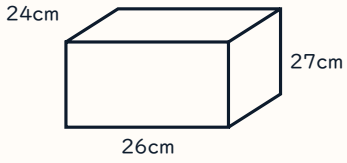
答え

(5) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 8778cm³

たて×横×高さ=19×21×22。

(2) 10120cm³

たて×横×高さ=20×22×23。

(3) 11592cm³

たて×横×高さ=21×23×24。

(4) 13200cm³

たて×横×高さ=22×24×25。

(5) 14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

(6) 16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

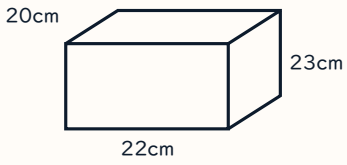
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

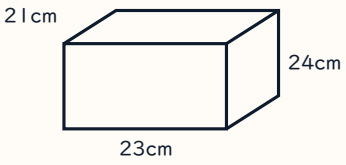
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて20cm、横22cm、高さ23cmの直方体の体積を求めましょう。



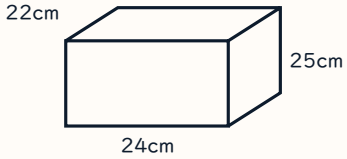
答え

(2) たて21cm、横23cm、高さ24cmの直方体の体積を求めましょう。



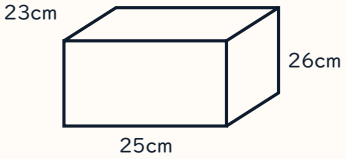
答え

(3) たて22cm、横24cm、高さ25cmの直方体の体積を求めましょう。



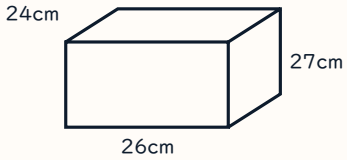
答え

(4) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



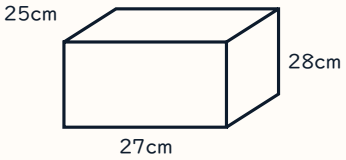
答え

(5) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1)　10120cm³

たて×横×高さ=20×22×23。

(2)　11592cm³

たて×横×高さ=21×23×24。

(3)　13200cm³

たて×横×高さ=22×24×25。

(4)　14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

(5)　16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

(6)　18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

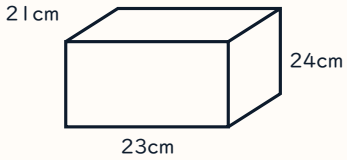
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

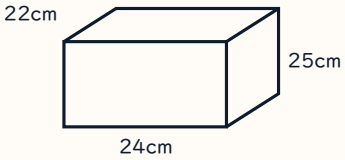
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて21cm、横23cm、高さ24cmの直方体の体積を求めましょう。



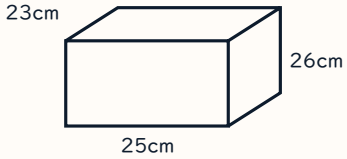
答え

(2) たて22cm、横24cm、高さ25cmの直方体の体積を求めましょう。



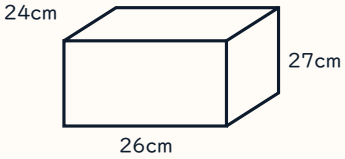
答え

(3) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



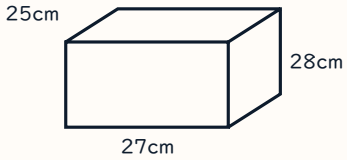
答え

(4) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



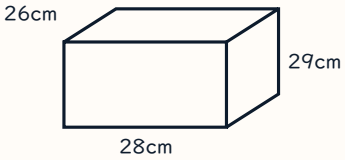
答え

(5) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて26cm、横28cm、高さ29cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 11592cm³

たて×横×高さ=21×23×24。

(2) 13200cm³

たて×横×高さ=22×24×25。

(3) 14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

(4) 16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

(5) 18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

(6) 21112cm³

たて×横×高さ=26×28×29。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

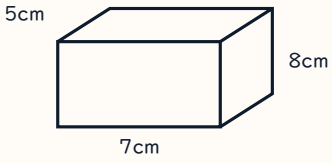
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

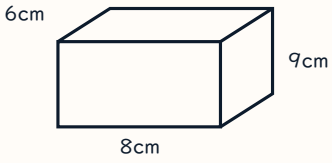
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて5cm、横7cm、高さ8cmの直方体の体積を求めましょう。



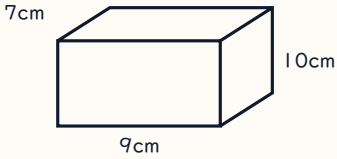
答え

(2) たて6cm、横8cm、高さ9cmの直方体の体積を求めましょう。



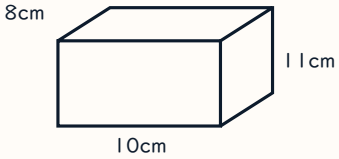
答え

(3) たて7cm、横9cm、高さ10cmの直方体の体積を求めましょう。



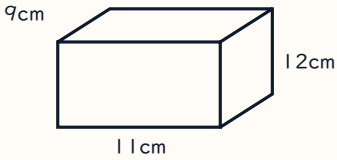
答え

(4) たて8cm、横10cm、高さ11cmの直方体の体積を求めましょう。



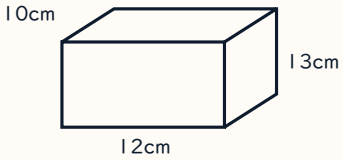
答え

(5) たて9cm、横11cm、高さ12cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて10cm、横12cm、高さ13cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 280cm³

たて×横×高さ=5×7×8。

(2) 432cm³

たて×横×高さ=6×8×9。

(3) 630cm³

たて×横×高さ=7×9×10。

(4) 880cm³

たて×横×高さ=8×10×11。

(5) 1188cm³

たて×横×高さ=9×11×12。

(6) 1560cm³

たて×横×高さ=10×12×13。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

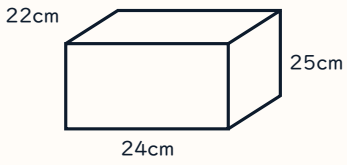
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

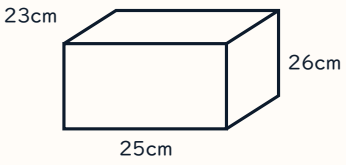
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて22cm、横24cm、高さ25cmの直方体の体積を求めましょう。



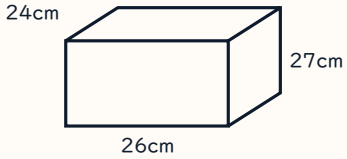
答え

(2) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



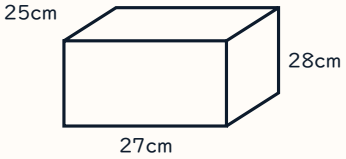
答え

(3) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



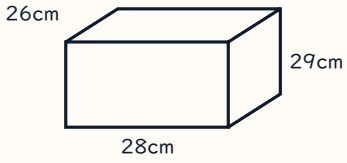
答え

(4) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



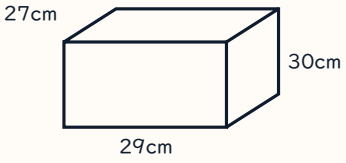
答え

(5) たて26cm、横28cm、高さ29cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて27cm、横29cm、高さ30cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 13200cm³

たて×横×高さ=22×24×25。

(2) 14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

(3) 16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

(4) 18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

(5) 21112cm³

たて×横×高さ=26×28×29。

(6) 23490cm³

たて×横×高さ=27×29×30。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

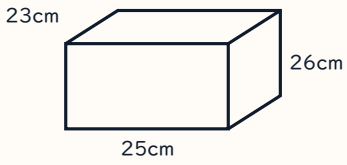
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

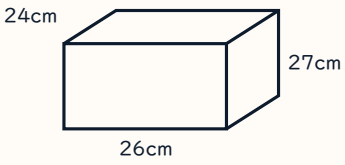
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて23cm、横25cm、高さ26cmの直方体の体積を求めましょう。



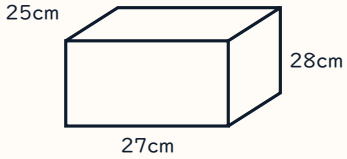
答え

(2) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



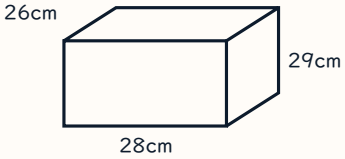
答え

(3) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



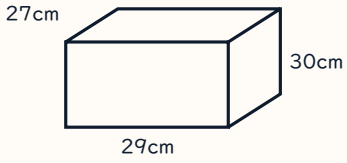
答え

(4) たて26cm、横28cm、高さ29cmの直方体の体積を求めましょう。



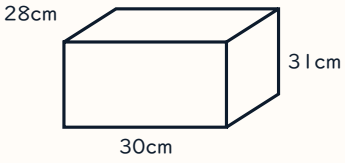
答え

(5) たて27cm、横29cm、高さ30cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて28cm、横30cm、高さ31cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 14950cm³

たて×横×高さ=23×25×26。

(2) 16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

(3) 18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

(4) 21112cm³

たて×横×高さ=26×28×29。

(5) 23490cm³

たて×横×高さ=27×29×30。

(6) 26040cm³

たて×横×高さ=28×30×31。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

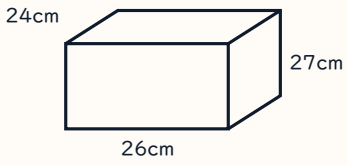
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

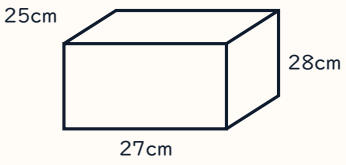
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて24cm、横26cm、高さ27cmの直方体の体積を求めましょう。



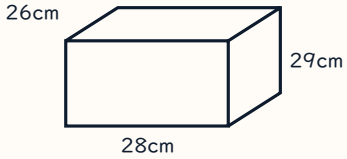
答え

(2) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



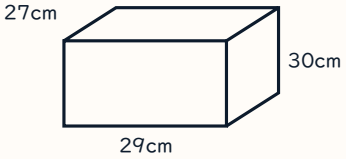
答え

(3) たて26cm、横28cm、高さ29cmの直方体の体積を求めましょう。



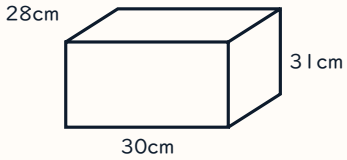
答え

(4) たて27cm、横29cm、高さ30cmの直方体の体積を求めましょう。



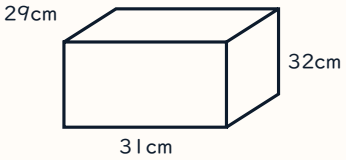
答え

(5) たて28cm、横30cm、高さ31cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて29cm、横31cm、高さ32cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 16848cm³

たて×横×高さ=24×26×27。

(2) 18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

(3) 21112cm³

たて×横×高さ=26×28×29。

(4) 23490cm³

たて×横×高さ=27×29×30。

(5) 26040cm³

たて×横×高さ=28×30×31。

(6) 28768cm³

たて×横×高さ=29×31×32。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

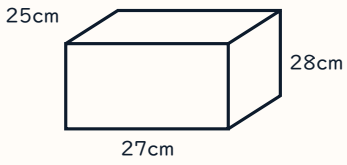
直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

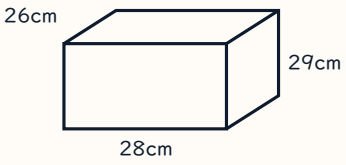
例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) たて25cm、横27cm、高さ28cmの直方体の体積を求めましょう。



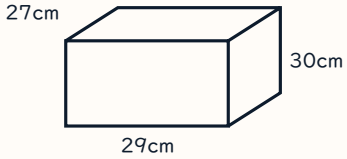
答え

(2) たて26cm、横28cm、高さ29cmの直方体の体積を求めましょう。



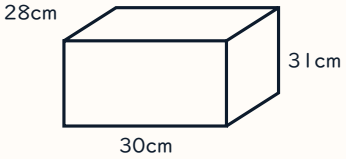
答え

(3) たて27cm、横29cm、高さ30cmの直方体の体積を求めましょう。



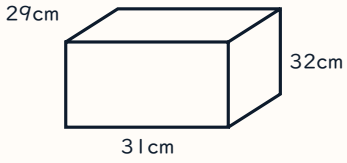
答え

(4) たて28cm、横30cm、高さ31cmの直方体の体積を求めましょう。



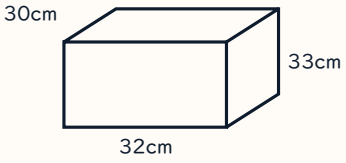
答え

(5) たて29cm、横31cm、高さ32cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

(6) たて30cm、横32cm、高さ33cmの直方体の体積を求めましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18900cm³

たて×横×高さ=25×27×28。

(2) 21112cm³

たて×横×高さ=26×28×29。

(3) 23490cm³

たて×横×高さ=27×29×30。

(4) 26040cm³

たて×横×高さ=28×30×31。

(5) 28768cm³

たて×横×高さ=29×31×32。

(6) 31680cm³

たて×横×高さ=30×32×33。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号:_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて6cm、横8cm。水の深さ9cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積432cm³、たて6cm、横8cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 6500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 6.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺6cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて6cm、横8cm、高さ9cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 432cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 9cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 6.5L

1L＝1000cm³。

(4) 6500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 432cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて26cm、横28cm。水の深さ29cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積2112cm³、たて26cm、横28cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 26500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 26.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺26cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて26cm、横28cm、高さ29cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2112cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 29cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 26.5L

1L＝1000cm³。

(4) 26500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 3152cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて27cm、横29cm。水の深さ30cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積23490cm³、たて27cm、横29cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 27500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 27.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺27cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて27cm、横29cm、高さ30cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23490cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 30cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 27.5L

1L＝1000cm³。

(4) 27500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 39366cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて28cm、横30cm。水の深さ31cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積26040cm³、たて28cm、横30cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 28500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 28.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺28cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて28cm、横30cm、高さ31cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26040cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 31cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 28.5L

1L＝1000cm³。

(4) 28500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 43904cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて29cm、横31cm。水の深さ32cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積28768cm³、たて29cm、横31cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 29500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 29.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺29cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて29cm、横31cm、高さ32cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28768cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 32cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 29.5L

1L＝1000cm³。

(4) 29500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 48778cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて7cm、横9cm。水の深さ10cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積630cm³、たて7cm、横9cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 7500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 7.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺7cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて7cm、横9cm、高さ10cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 630cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 10cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 7.5L

1L＝1000cm³。

(4) 7500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 686cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて30cm、横32cm。水の深さ33cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積31680cm³、たて30cm、横32cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 30500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 30.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺30cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて30cm、横32cm、高さ33cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 31680cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 33cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 30.5L

1L＝1000cm³。

(4) 30500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 54000cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて31cm、横33cm。水の深さ34cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積34782cm³、たて31cm、横33cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 31500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 31.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺31cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて31cm、横33cm、高さ34cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 34782cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 34cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 31.5L

1L＝1000cm³。

(4) 31500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 59582cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて32cm、横34cm。水の深さ35cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積38080cm³、たて32cm、横34cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 32500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 32.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺32cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて32cm、横34cm、高さ35cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 38080cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 35cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 32.5L

1L＝1000cm³。

(4) 32500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 65536cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

直方体と立方体の体積

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 直方体の体積＝たて×横×高さ。1L＝1000cm³。図は実際の長さではありません。

例 たて3cm、横4cm、高さ5cmの直方体は、3×4×5＝60cm³です。

(1) 水そうの底面はたて33cm、横35cm。水の深さ36cmのとき、水の体積は何cm³ですか。

答え

(2) 体積41580cm³、たて33cm、横35cmの直方体の高さは何cmですか。

答え

(3) 33500cm³の水は何Lですか。

答え

(4) 33.5Lの水は何cm³ですか。

答え

(5) 一辺33cmの立方体2個の体積の合計は何cm³ですか。

答え

(6) たて33cm、横35cm、高さ36cmの体積に、cm²を付けてよいですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

直方体と立方体の体積 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 41580cm³

底面の面積×水の深さ。

(2) 36cm

体積を底面の面積でわります。

(3) 33.5L

1L＝1000cm³。

(4) 33500cm³

Lの量を1000倍します。

(5) 71874cm³

一辺×一辺×一辺で1個分を求めます。

(6) いけない。cm³を付ける

cm²は面積、cm³は体積の単位です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 4の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 12の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 8と12の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 4と6の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 29は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 4分ごとと6分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4、8、12

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、4、6、12

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 12

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 12分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 10の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 30の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 20と24の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 10と12の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 71は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 10分ごとと12分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 10、20、30

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、5、6、10、15、30

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 60

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 60分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 11の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 33の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 22と26の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 11と13の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 78は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 11分ごとと13分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 11、22、33

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、11、33

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 143

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 143分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 12の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 36の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 24と28の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 12と14の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 85は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 12分ごとと14分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 12、24、36

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、4、6、9、12、18、36

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 84

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 84分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 13の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 39の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 26と30の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 13と15の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 92は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 13分ごとと15分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 13、26、39

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、13、39

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 195

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 195分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 10cm×14cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆15本と消しゴム21個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 10と14の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 5と7の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 36は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 5分ごとと7分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 35

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 35分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 28cm×32cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆42本と消しゴム48個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 28と32の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 14と16の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 99は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 14分ごとと16分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 112

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 112分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 30cm×34cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆45本と消しゴム51個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 30と34の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 15と17の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 106は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 15分ごとと17分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 255

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 255分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 32cm×36cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆48本と消しゴム54個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 32と36の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 16と18の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 113は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 16分ごとと18分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 144

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 144分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 34cm×38cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆51本と消しゴム57個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 34と38の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 17と19の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 120は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 17分ごとと19分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 323

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 323分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 6の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 18の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 12と16の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 6と8の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 43は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 6分ごとと8分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 6、12、18

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、6、9、18

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 24

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 24分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 18の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 54の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 36と40の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 18と20の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 127は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 18分ごとと20分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18、36、54

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、6、9、18、27、54

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 180

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 180分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 19の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 57の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 38と42の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 19と21の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 134は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 19分ごとと21分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 19、38、57

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、19、57

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 399

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 399分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 20の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 60の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 40と44の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 20と22の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 141は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 20分ごとと22分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20、40、60

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、4、5、6、10、12、15、20、30、60

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 220

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 220分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 21の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 63の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 42と46の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 21と23の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 148は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 21分ごとと23分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21、42、63

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、7、9、21、63

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 483

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 483分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 7の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 21の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 14と18の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 7と9の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 50は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 7分ごとと9分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 7、14、21

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、7、21

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 63

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 63分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 22の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 66の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 44と48の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 22と24の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 155は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 22分ごとと24分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22、44、66

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、6、11、22、33、66

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 264

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 264分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 23の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 69の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 46と50の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 23と25の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 162は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 23分ごとと25分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23、46、69

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、23、69

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 575

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 575分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 24の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 72の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 48と52の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 24と26の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 169は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 24分ごとと26分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24、48、72

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、2、3、4、6、8、9、12、18、24、36、72

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 312

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 312分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 25の倍数を小さい順に3つ書きましょう（0は除く）。

答え

(2) 75の約数をすべて書きましょう。

答え

(3) 50と54の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 25と27の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 176は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 25分ごとと27分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 25、50、75

1倍、2倍、3倍を求めます。

(2) 1、3、5、15、25、75

わり切れる整数を、小さい順に探します。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 675

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 675分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 16cm×20cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆24本と消しゴム30個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 16と20の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 8と10の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 57は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 8分ごとと10分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 40

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 40分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 52cm×56cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆78本と消しゴム84個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 52と56の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 26と28の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 183は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 26分ごとと28分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 364

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 364分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 54cm×58cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆81本と消しゴム87個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 54と58の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 27と29の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 190は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 27分ごとと29分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 783

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 783分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 56cm×60cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆84本と消しゴム90個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 56と60の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 28と30の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 197は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 28分ごとと30分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 420

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 420分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 58cm×62cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆87本と消しゴム93個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 58と62の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 29と31の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 204は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 29分ごとと31分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 899

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 899分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 18cm×22cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆27本と消しゴム33個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 18と22の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 9と11の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 64は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 9分ごとと11分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 99

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 99分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 60cm×64cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆90本と消しゴム96個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 60と64の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 30と32の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 211は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 30分ごとと32分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 480

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 480分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 62cm×66cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆93本と消しゴム99個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 62と66の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 31と33の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 218は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 31分ごとと33分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 1023

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 1023分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 64cm×68cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆96本と消しゴム102個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 64と68の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 32と34の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 225は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 32分ごとと34分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 4cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 6袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 4

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 544

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 奇数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 544分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

倍数・約数と偶数・奇数

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 倍数は整数倍した数。約数はわり切れる整数。最小公倍数・最大公約数を区別します。

例 6と8の最小公倍数は24、最大公約数は2です。

(1) 66cm×70cmの紙を、余りなく同じ大きさの正方形に切ります。最大の一辺は何cmですか。

答え

(2) 鉛筆99本と消しゴム105個を、同じ内容の袋に余りなく分けます。最大何袋できますか。

答え

(3) 66と70の最大公約数を求めましょう。

答え

(4) 33と35の最小公倍数を求めましょう。

答え

(5) 232は偶数ですか、奇数ですか。

答え

(6) 33分ごとと35分ごとのベルが同時に鳴りました。次に同時に鳴るのは何分後ですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

倍数・約数と偶数・奇数 / 解答と考え方

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　答え合わせ

(1) 2cm

たても横もわり切る長さの最大値です。

(2) 3袋

2つの個数の最大公約数を求めます。

(3) 2

共通する約数のうち最大の数を選びます。

(4) 1155

共通する倍数のうち最小の正の数を選びます。

(5) 偶数

2でわり切れれば偶数、あまりが1なら奇数です。

(6) 1155分後

2つの間隔の最小公倍数を求めます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：＿＿＿＿＿＿　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速50mで5分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 250mを5分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 250mを分速50mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速50kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米4kgが1400円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは100mを2分、Bさんは180mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 250m

道のり＝速さ×時間。

(2) 50m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 5分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 100km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん50m、Bさん60m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速90mで4分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 360mを4分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 360mを分速90mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速90kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米10kgが3500円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは180mを2分、Bさんは300mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 360m

道のり＝速さ×時間。

(2) 90m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 4分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 180km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん90m、Bさん100m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速50mで5分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 250mを5分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 250mを分速50mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速50kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米11kgが3850円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは100mを2分、Bさんは180mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 250m

道のり＝速さ×時間。

(2) 50m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 5分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 100km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん50m、Bさん60m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速55mで5分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 275mを5分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 275mを分速55mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速55kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米12kgが4200円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは110mを2分、Bさんは195mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 275m

道のり＝速さ×時間。

(2) 55m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 5分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 110km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん55m、Bさん65m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速60mで5分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 300mを5分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 300mを分速60mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速60kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米13kgが4550円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは120mを2分、Bさんは210mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 300m

道のり＝速さ×時間。

(2) 60m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 5分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 120km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん60m、Bさん70m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

速さと単位量あたり

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速55mで6分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 330mを6分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 330mを分速55mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速55kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米5kgが1750円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは110mを2分、Bさんは195mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 330m

道のり＝速さ×時間。

(2) 55m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 6分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 110km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん55m、Bさん65m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速65mで6分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 390mを6分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 390mを分速65mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速65kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米14kgが4900円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは130mを2分、Bさんは225mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 390m

道のり＝速さ×時間。

(2) 65m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 6分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 130km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん65m、Bさん75m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速70mで6分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 420mを6分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 420mを分速70mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速70kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米15kgが5250円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは140mを2分、Bさんは240mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 420m

道のり＝速さ×時間。

(2) 70m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 6分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 140km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん70m、Bさん80m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速75mで6分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 450mを6分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 450mを分速75mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速75kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米16kgが5600円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは150mを2分、Bさんは255mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 450m

道のり＝速さ×時間。

(2) 75m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 6分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 150km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん75m、Bさん85m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速80mで7分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 560mを7分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 560mを分速80mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速80kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米17kgが5950円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは160mを2分、Bさんは270mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 560m

道のり＝速さ×時間。

(2) 80m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 7分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 160km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん80m、Bさん90m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速60mで7分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 420mを7分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 420mを分速60mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速60kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米6kgが2100円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは120mを2分、Bさんは210mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 420m

道のり＝速さ×時間。

(2) 60m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 7分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 120km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん60m、Bさん70m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速85mで7分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 595mを7分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 595mを分速85mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速85kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米18kgが6300円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは170mを2分、Bさんは285mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 595m

道のり＝速さ×時間。

(2) 85m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 7分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 170km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん85m、Bさん95m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速90mで7分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 630mを7分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 630mを分速90mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速90kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米19kgが6650円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは180mを2分、Bさんは300mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 630m

道のり＝速さ×時間。

(2) 90m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 7分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 180km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん90m、Bさん100m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速50mで8分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 400mを8分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 400mを分速50mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速50kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米20kgが7000円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは100mを2分、Bさんは180mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 400m

道のり＝速さ×時間。

(2) 50m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 8分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 100km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん50m、Bさん60m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速55mで8分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 440mを8分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 440mを分速55mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速55kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米21kgが7350円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは110mを2分、Bさんは195mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 440m

道のり＝速さ×時間。

(2) 55m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 8分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 110km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん55m、Bさん65m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3＝60で分速60mです。

(1) 分速65mで8分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 520mを8分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 520mを分速65mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速65kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米7kgが2450円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは130mを2分、Bさんは225mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 520m

道のり＝速さ×時間。

(2) 65m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 8分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 130km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん65m、Bさん75m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速60mで8分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 480mを8分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 480mを分速60mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速60kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米22kgが7700円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは120mを2分、Bさんは210mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 480m

道のり＝速さ×時間。

(2) 60m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 8分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 120km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん60m、Bさん70m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速65mで9分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 585mを9分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 585mを分速65mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速65kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米23kgが8050円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは130mを2分、Bさんは225mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 585m

道のり＝速さ×時間。

(2) 65m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 9分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 130km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん65m、Bさん75m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速70mで9分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 630mを9分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 630mを分速70mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速70kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米24kgが8400円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは140mを2分、Bさんは240mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 630m

道のり＝速さ×時間。

(2) 70m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 9分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 140km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん70m、Bさん80m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速75mで9分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 675mを9分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 675mを分速75mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速75kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米25kgが8750円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは150mを2分、Bさんは255mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 675m

道のり＝速さ×時間。

(2) 75m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 9分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 150km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん75m、Bさん85m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速70mで9分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 630mを9分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 630mを分速70mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速70kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米8kgが2800円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは140mを2分、Bさんは240mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 630m

道のり＝速さ×時間。

(2) 70m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 9分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 140km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん70m、Bさん80m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速80mで10分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 800mを10分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 800mを分速80mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速80kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米26kgが9100円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは160mを2分、Bさんは270mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 800m

道のり＝速さ×時間。

(2) 80m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 10分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 160km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん80m、Bさん90m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速85mで10分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 850mを10分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 850mを分速85mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速85kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米27kgが9450円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは170mを2分、Bさんは285mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 850m

道のり＝速さ×時間。

(2) 85m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 10分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 170km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん85m、Bさん95m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速90mで10分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 900mを10分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 900mを分速90mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速90kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米28kgが9800円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは180mを2分、Bさんは300mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 900m

道のり＝速さ×時間。

(2) 90m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 10分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 180km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん90m、Bさん100m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速50mで11分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 550mを11分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 550mを分速50mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速50kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米29kgが10150円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは100mを2分、Bさんは180mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 550m

道のり＝速さ×時間。

(2) 50m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 11分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 100km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん50m、Bさん60m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速75mで10分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 750mを10分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 750mを分速75mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速75kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米9kgが3150円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは150mを2分、Bさんは255mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 750m

道のり＝速さ×時間。

(2) 75m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 10分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 150km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん75m、Bさん85m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速55mで11分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 605mを11分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 605mを分速55mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速55kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米30kgが10500円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは110mを2分、Bさんは195mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 605m

道のり＝速さ×時間。

(2) 55m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 11分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 110km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん55m、Bさん65m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速60mで11分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 660mを11分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 660mを分速60mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速60kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米31kgが10850円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは120mを2分、Bさんは210mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 660m

道のり＝速さ×時間。

(2) 60m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 11分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 120km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん60m、Bさん70m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3＝60で分速60mです。

(1) 分速65mで2分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 130mを2分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 130mを分速65mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速65kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米32kgが11200円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは130mを2分、Bさんは225mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 130m

道のり＝速さ×時間。

(2) 65m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 2分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 130km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん65m、Bさん75m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

速さと単位量あたり

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 速さ＝道のり÷時間。道のり＝速さ×時間。時間＝道のり÷速さ。

例 180mを3分で歩くと、180÷3=60で分速60mです。

(1) 分速70mで2分歩きます。道のりは何mですか。

答え

(2) 140mを2分で歩きます。分速何mですか。

答え

(3) 140mを分速70mで歩きます。何分かかりますか。

答え

(4) 時速70kmで2時間走ります。道のりは何kmですか。

答え

(5) 米33kgが11550円です。1kgあたり何円ですか。

答え

(6) Aさんは140mを2分、Bさんは240mを3分で歩きます。速いのはどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

速さと単位量あたり / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 140m

道のり＝速さ×時間。

(2) 70m

速さ＝道のり÷時間。

(3) 2分

時間＝道のり÷速さ。

(4) 140km

時間の単位を時間にそろえます。

(5) 350円

代金÷重さで1kg分を求めます。

(6) Bさん

1分あたりはAさん70m、Bさん80m。単位時間あたりで比べます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径6cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径4cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周18.84cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正3角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺5cmの正3角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径6cmの円の円周を求める式は、6×3.14と6×6×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18.84cm

円周＝直径×円周率。

(2) 25.12cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 6cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 120°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 15cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 6×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径12cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径10cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周37.68cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正3角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺11cmの正3角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径12cmの円の円周を求める式は、12×3.14と12×12×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 37.68cm

円周＝直径×円周率。

(2) 62.8cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 12cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 120°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 33cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 12×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径13cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径11cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周40.82cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正3角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺12cmの正3角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径13cmの円の円周を求める式は、13×3.14と13×13×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 40.82cm

円周＝直径×円周率。

(2) 69.08cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 13cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 120°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 36cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 13×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径14cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径12cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周43.96cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正3角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺13cmの正3角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径14cmの円の円周を求める式は、14×3.14と14×14×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 43.96cm

円周＝直径×円周率。

(2) 75.36cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 14cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 120°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 39cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 14×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

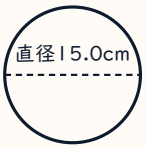
円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径15cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径13cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周47.1cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正3角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺14cmの正3角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径15cmの円の円周を求める式は、15×3.14と15×15×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 47.1cm

円周＝直径×円周率。

(2) 81.64cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 15cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 120°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 42cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 15×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径7cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径5cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周21.98cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正4角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺6cmの正4角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径7cmの円の円周を求める式は、7×3.14と7×7×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21.98cm

円周＝直径×円周率。

(2) 31.4cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 7cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 90°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 24cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 7×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

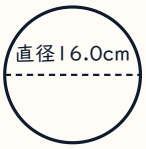
円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6＝60°です。

(1) 直径16cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径14cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周50.24cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正4角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺15cmの正4角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径16cmの円の円周を求める式は、16×3.14と16×16×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 50.24cm

円周＝直径×円周率。

(2) 87.92cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 16cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 90°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 60cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 16×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径17cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径15cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周53.38cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正4角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺16cmの正4角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径17cmの円の円周を求める式は、17×3.14と17×17×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 53.38cm

円周＝直径×円周率。

(2) 94.2cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 17cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 90°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 64cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 17×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

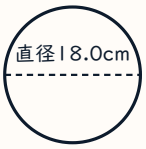
円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径18cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径16cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周56.52cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正4角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺17cmの正4角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径18cmの円の円周を求める式は、18×3.14と18×18×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 56.52cm

円周＝直径×円周率。

(2) 100.48cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 18cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 90°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 68cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 18×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

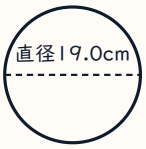
円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径19cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径17cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周59.66cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正4角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺18cmの正4角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径19cmの円の円周を求める式は、19×3.14と19×19×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 59.66cm

円周＝直径×円周率。

(2) 106.76cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 19cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 90°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 72cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 19×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径8cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径6cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周25.12cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正5角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺7cmの正5角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径8cmの円の円周を求める式は、8×3.14と8×8×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25.12cm

円周＝直径×円周率。

(2) 37.68cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 8cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 72°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 35cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 8×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径20cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径18cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周62.8cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正5角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺19cmの正5角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径20cmの円の円周を求める式は、20×3.14と20×20×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 62.8cm

円周＝直径×円周率。

(2) 113.04cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 20cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 72°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 95cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 20×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径21cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径19cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周65.94cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正5角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺20cmの正5角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径21cmの円の円周を求める式は、21×3.14と21×21×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 65.94cm

円周＝直径×円周率。

(2) 119.32cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 21cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 72°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 100cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 21×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径22cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径20cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周69.08cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正5角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺21cmの正5角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径22cmの円の円周を求める式は、22×3.14と22×22×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 69.08cm

円周＝直径×円周率。

(2) 125.6cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 22cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 72°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 105cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 22×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径23cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径21cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周72.22cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正5角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺22cmの正5角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径23cmの円の円周を求める式は、23×3.14と23×23×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 72.22cm

円周＝直径×円周率。

(2) 131.88cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 23cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 72°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 110cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 23×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6＝60°です。

(1) 直径9cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径7cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周28.26cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正6角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺8cmの正6角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径9cmの円の円周を求める式は、9×3.14と9×9×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28.26cm

円周＝直径×円周率。

(2) 43.96cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 9cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 60°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 48cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 9×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径24cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径22cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周75.36cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正6角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺23cmの正6角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径24cmの円の円周を求める式は、24×3.14と24×24×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 75.36cm

円周＝直径×円周率。

(2) 138.16cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 24cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 60°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 138cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 24×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径25cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径23cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周78.5cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正6角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺24cmの正6角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径25cmの円の円周を求める式は、25×3.14と25×25×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 78.5cm

円周＝直径×円周率。

(2) 144.44cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 25cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 60°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 144cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 25×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径26cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径24cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周81.64cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正6角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺25cmの正6角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径26cmの円の円周を求める式は、26×3.14と26×26×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 81.64cm

円周＝直径×円周率。

(2) 150.72cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 26cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 60°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 150cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 26×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径27cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径25cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周84.78cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正6角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺26cmの正6角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径27cmの円の円周を求める式は、27×3.14と27×27×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 84.78cm

円周＝直径×円周率。

(2) 157cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 27cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 60°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 156cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 27×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

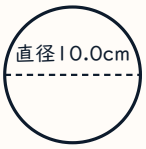
円周と正多角形

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付 ＿＿ / ＿＿　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径10cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径8cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周31.4cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正8角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺9cmの正8角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径10cmの円の円周を求める式は、10×3.14と10×10×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ＿＿ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 31.4cm

円周＝直径×円周率。

(2) 50.24cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 10cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 45°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 72cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 10×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径28cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径26cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周87.92cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正8角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺27cmの正8角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径28cmの円の円周を求める式は、28×3.14と28×28×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 87.92cm

円周＝直径×円周率。

(2) 163.28cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 28cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 45°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 216cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 28×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径29cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径27cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周91.06cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正8角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺28cmの正8角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径29cmの円の円周を求める式は、29×3.14と29×29×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 91.06cm

円周＝直径×円周率。

(2) 169.56cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 29cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 45°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 224cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 29×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径30cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径28cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周94.2cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正8角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺29cmの正8角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径30cmの円の円周を求める式は、30×3.14と30×30×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 94.2cm

円周＝直径×円周率。

(2) 175.84cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 30cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 45°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 232cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 30×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径31cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径29cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周97.34cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正8角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺30cmの正8角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径31cmの円の円周を求める式は、31×3.14と31×31×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 97.34cm

円周＝直径×円周率。

(2) 182.12cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 31cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 45°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 240cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 31×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

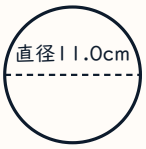
円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6＝60°です。

(1) 直径11cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径9cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周34.54cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正10角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺10cmの正10角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径11cmの円の円周を求める式は、11×3.14と11×11×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 34.54cm

円周＝直径×円周率。

(2) 56.52cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 11cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 36°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 100cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 11×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径32cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径30cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周100.48cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正10角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺31cmの正10角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径32cmの円の円周を求める式は、32×3.14と32×32×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 100.48cm

円周＝直径×円周率。

(2) 188.4cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 32cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 36°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 310cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 32×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径33cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径31cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周103.62cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正10角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺32cmの正10角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径33cmの円の円周を求める式は、33×3.14と33×33×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 103.62cm

円周＝直径×円周率。

(2) 194.68cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 33cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 36°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 320cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 33×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径34cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径32cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周106.76cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正10角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺33cmの正10角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径34cmの円の円周を求める式は、34×3.14と34×34×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 106.76cm

円周＝直径×円周率。

(2) 200.96cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 34cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 36°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 330cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 34×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

円周と正多角形

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 円周＝直径×円周率。円周率は3.14。正多角形は辺と角がすべて等しい図形です。

例 直径10cmの円周は31.4cm。正六角形の中心を等分した角は360÷6=60°です。

(1) 直径35cmの円の円周を求めましょう。



答え

(2) 半径33cmの円の円周を求めましょう。

答え

(3) 円周109.9cmの円の直径を求めましょう。

答え

(4) 正10角形を、中心と各頂点を結んで同じ形の三角形に分けます。中心の一つの角は何度ですか。

答え

(5) 一辺34cmの正10角形のまわりの長さは何cmですか。

答え

(6) 直径35cmの円の円周を求める式は、35×3.14と35×35×3.14のどちらですか。

答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

円周と正多角形 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 109.9cm

円周＝直径×円周率。

(2) 207.24cm

半径を2倍して直径に直します。

(3) 35cm

直径＝円周÷円周率。

(4) 36°

中心のまわり360°を等分します。

(5) 340cm

同じ長さの辺が、辺の数だけあります。

(6) 35×3.14

まわりの長さは直径×円周率です。面積の式と区別します。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

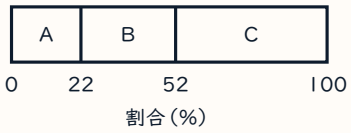
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

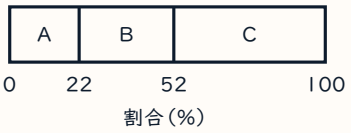
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート2：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



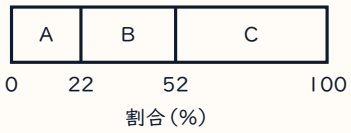
答え

(2) アンケート2：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



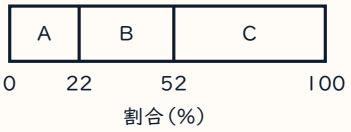
答え

(3) アンケート2：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



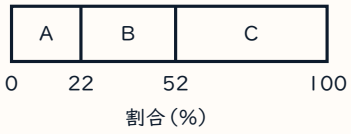
答え

(4) アンケート2：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



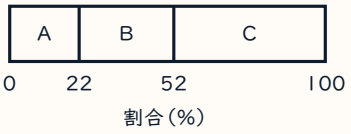
答え

(5) アンケート2：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート2：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 22%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 48%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 44人

全体の人数×Aの割合。

(5) 52%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

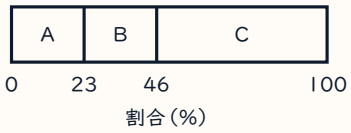
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

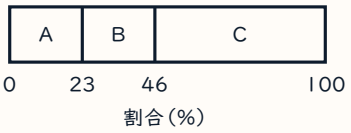
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート8：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



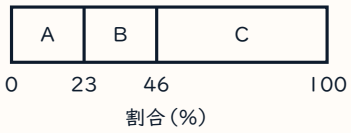
答え

(2) アンケート8：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



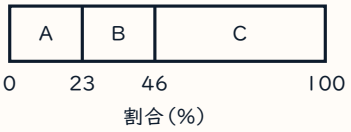
答え

(3) アンケート8：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



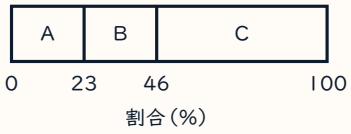
答え

(4) アンケート8：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



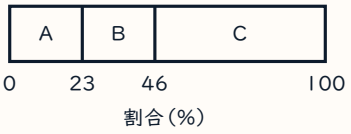
答え

(5) アンケート8：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート8：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 23%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 54%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 46人

全体の人数×Aの割合。

(5) 46%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

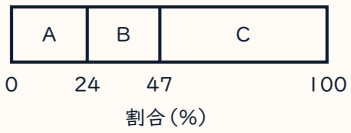
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

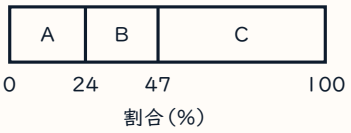
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート9：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



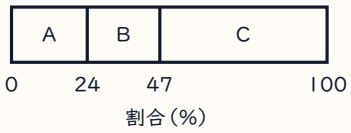
答え

(2) アンケート9：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



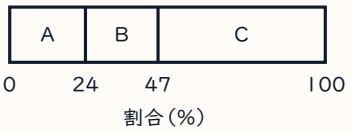
答え

(3) アンケート9：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



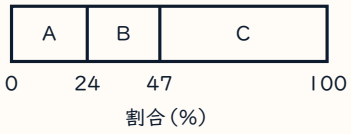
答え

(4) アンケート9：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



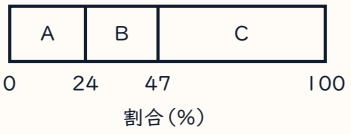
答え

(5) アンケート9：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート9：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 23%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 53%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 48人

全体の人数×Aの割合。

(5) 47%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

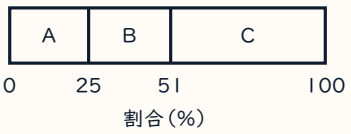
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート10：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



答え

(2) アンケート10：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



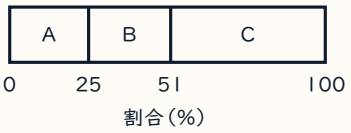
答え

(3) アンケート10：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



答え

(4) アンケート10：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



答え

(5) アンケート10：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート10：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 26%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 49%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 50人

全体の人数×Aの割合。

(5) 51%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

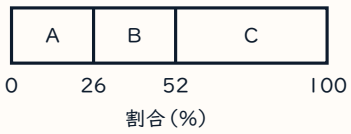
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

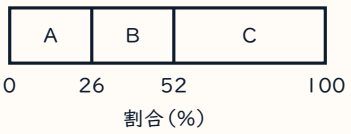
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート11：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



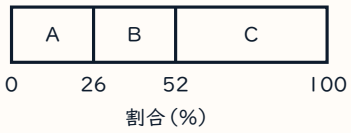
答え

(2) アンケート11：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



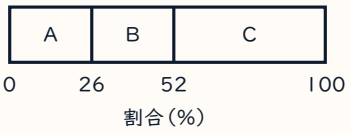
答え

(3) アンケート11：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



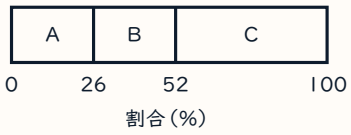
答え

(4) アンケート11：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



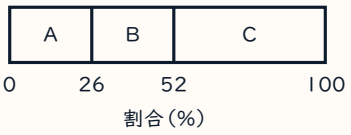
答え

(5) アンケート11：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート11：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 26%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 48%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 52人

全体の人数×Aの割合。

(5) 52%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

5〜6問できたら02の活用へ。3〜4問なら例を確認。0〜2問なら先生とポイントを見直しましょう。

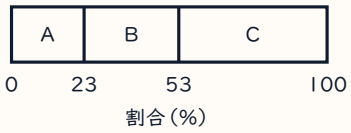
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

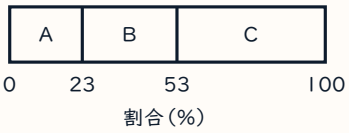
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート3：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



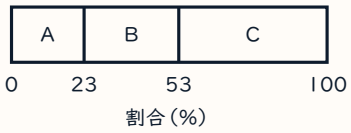
答え

(2) アンケート3：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



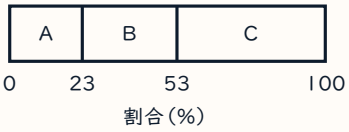
答え

(3) アンケート3：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



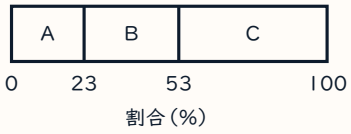
答え

(4) アンケート3：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



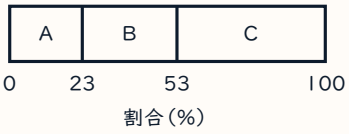
答え

(5) アンケート3：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート3：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 23%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 47%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 46人

全体の人数×Aの割合。

(5) 53%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

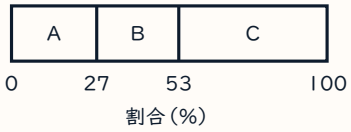
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

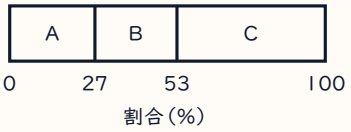
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート12：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



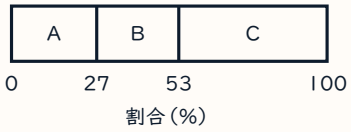
答え

(2) アンケート12：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



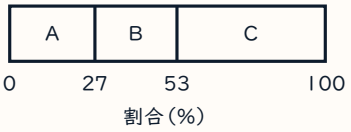
答え

(3) アンケート12：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



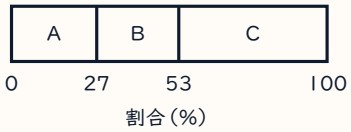
答え

(4) アンケート12：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



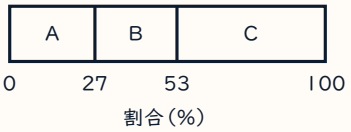
答え

(5) アンケート12：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート12：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 27%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 26%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 47%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 54人

全体の人数×Aの割合。

(5) 53%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

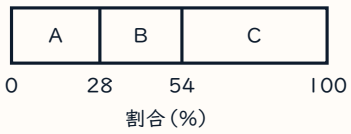
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

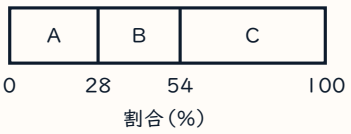
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート13：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



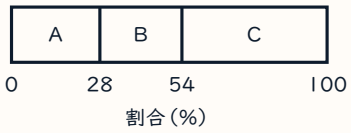
答え

(2) アンケート13：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



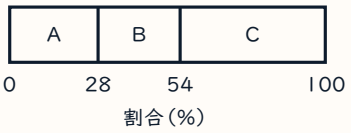
答え

(3) アンケート13：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



答え

(4) アンケート13：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



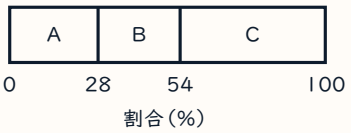
答え

(5) アンケート13：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート13：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 28%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 26%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 46%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 56人

全体の人数×Aの割合。

(5) 54%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

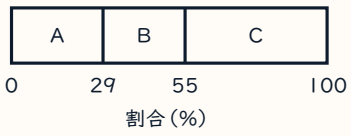
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

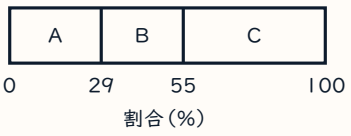
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート14：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



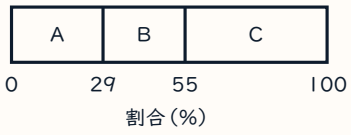
答え

(2) アンケート14：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



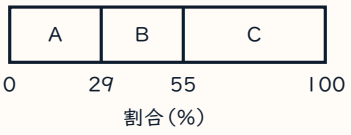
答え

(3) アンケート14：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



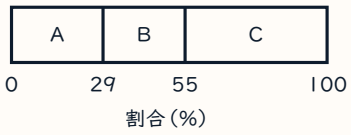
答え

(4) アンケート14：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



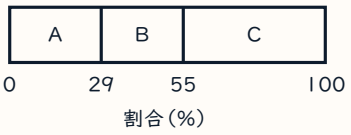
答え

(5) アンケート14：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート14：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 29%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 26%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 45%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 58人

全体の人数×Aの割合。

(5) 55%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

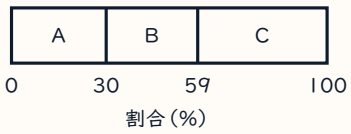
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

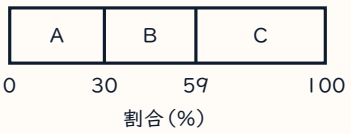
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート15：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



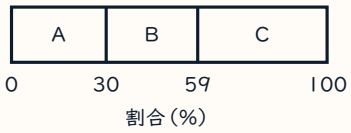
答え

(2) アンケート15：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



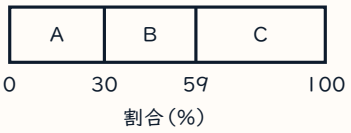
答え

(3) アンケート15：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



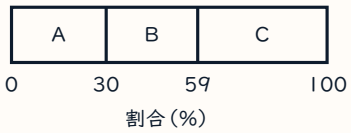
答え

(4) アンケート15：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



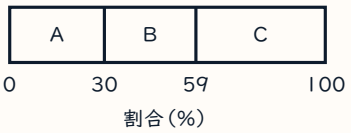
答え

(5) アンケート15：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート15：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 30%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 29%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 41%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 60人

全体の人数×Aの割合。

(5) 59%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

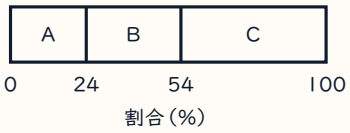
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

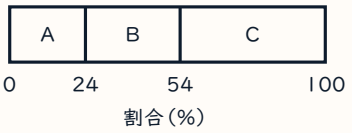
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート4：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



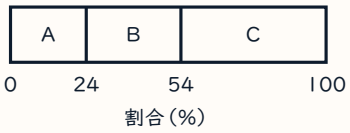
答え

(2) アンケート4：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



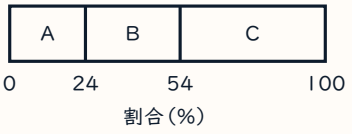
答え

(3) アンケート4：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



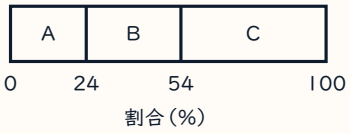
答え

(4) アンケート4：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



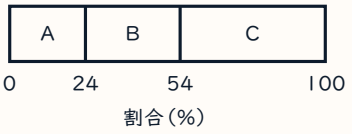
答え

(5) アンケート4：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート4：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 24%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 46%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 48人

全体の人数×Aの割合。

(5) 54%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

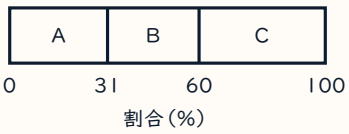
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート16：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



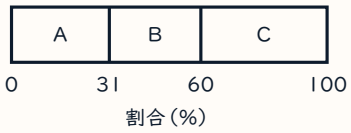
答え

(2) アンケート16：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



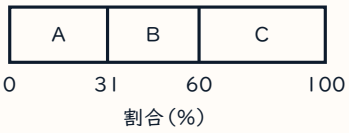
答え

(3) アンケート16：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



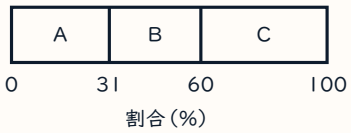
答え

(4) アンケート16：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



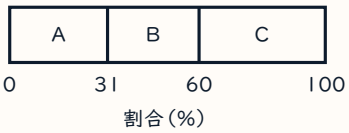
答え

(5) アンケート16：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート16：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 31%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 29%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 40%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 62人

全体の人数×Aの割合。

(5) 60%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

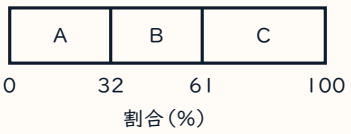
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート17：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



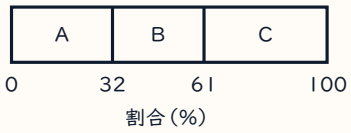
答え

(2) アンケート17：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



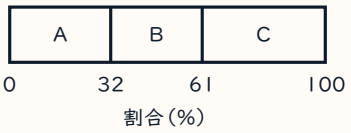
答え

(3) アンケート17：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



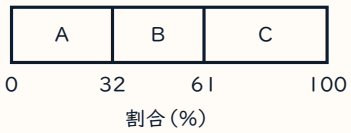
答え

(4) アンケート17：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



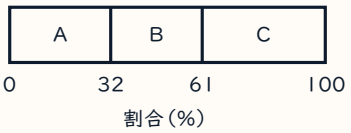
答え

(5) アンケート17：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート17：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6 できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 32%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 29%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 39%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 64人

全体の人数×Aの割合。

(5) 61%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

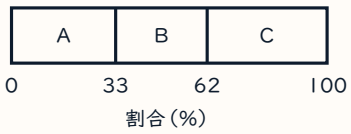
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

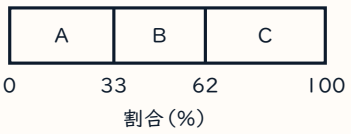
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート18：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



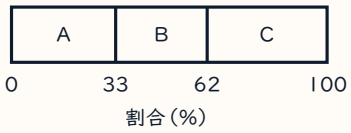
答え

(2) アンケート18：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



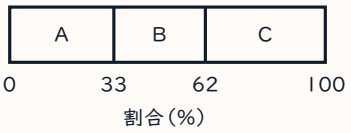
答え

(3) アンケート18：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



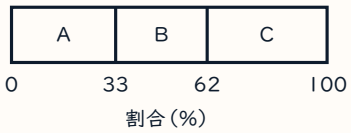
答え

(4) アンケート18：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



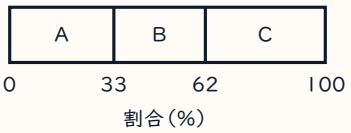
答え

(5) アンケート18：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート18：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 33%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 29%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 38%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 66人

全体の人数×Aの割合。

(5) 62%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

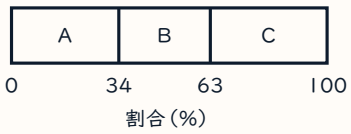
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

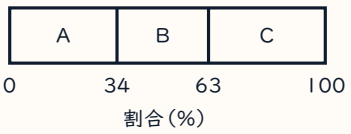
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート19：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



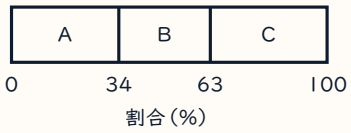
答え

(2) アンケート19：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



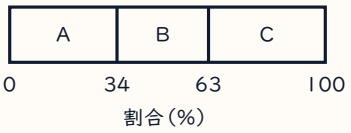
答え

(3) アンケート19：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



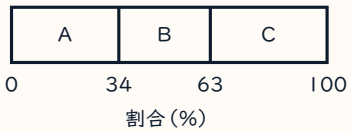
答え

(4) アンケート19：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



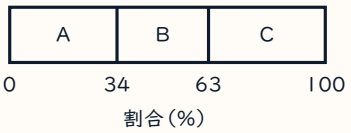
答え

(5) アンケート19：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート19：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 34%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 29%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 37%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 68人

全体の人数×Aの割合。

(5) 63%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

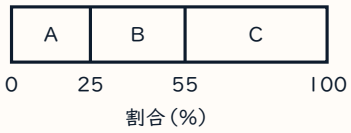
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

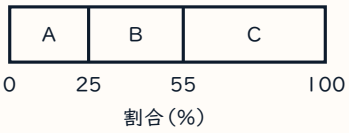
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート5：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



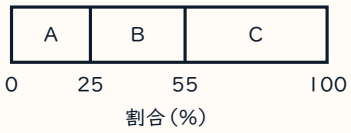
答え

(2) アンケート5：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



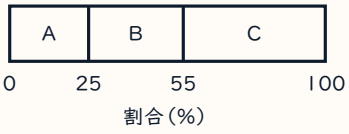
答え

(3) アンケート5：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



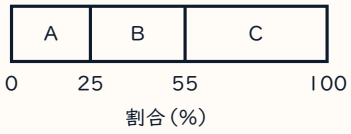
答え

(4) アンケート5：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



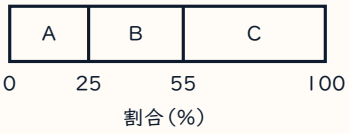
答え

(5) アンケート5：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート5：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 25%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 45%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 50人

全体の人数×Aの割合。

(5) 55%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

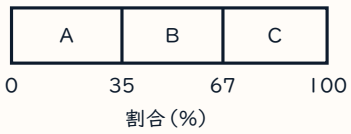
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

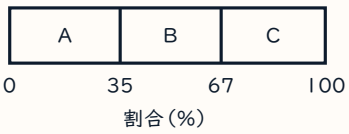
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート20：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



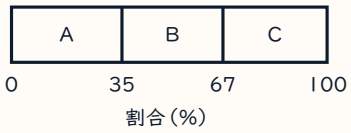
答え

(2) アンケート20：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



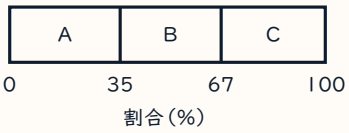
答え

(3) アンケート20：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



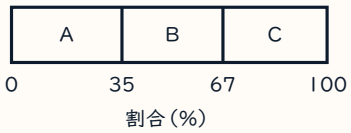
答え

(4) アンケート20：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



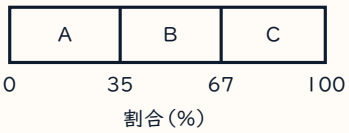
答え

(5) アンケート20：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート20：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 35%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 32%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 33%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 70人

全体の人数×Aの割合。

(5) 67%

2つの部分の割合をたします。

(6) A

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

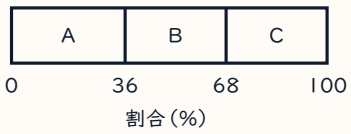
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

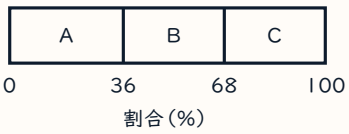
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート21：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



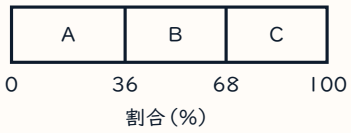
答え

(2) アンケート21：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



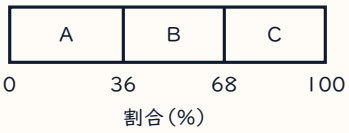
答え

(3) アンケート21：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



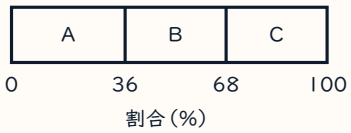
答え

(4) アンケート21：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



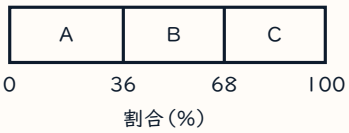
答え

(5) アンケート21：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート21：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 36%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 32%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 32%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 72人

全体の人数×Aの割合。

(5) 68%

2つの部分の割合をたします。

(6) A

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

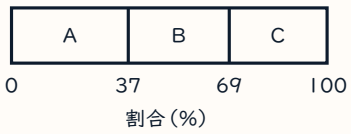
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

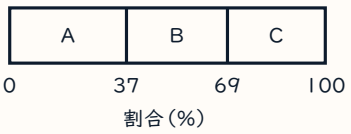
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート22：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



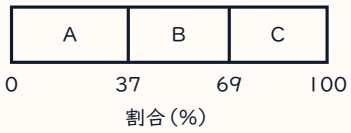
答え

(2) アンケート22：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



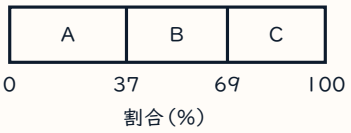
答え

(3) アンケート22：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



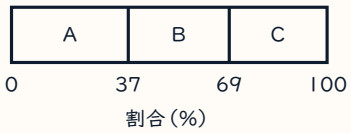
答え

(4) アンケート22：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



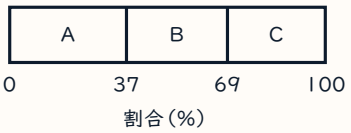
答え

(5) アンケート22：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート22：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 37%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 32%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 31%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 74人

全体の人数×Aの割合。

(5) 69%

2つの部分の割合をたします。

(6) A

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

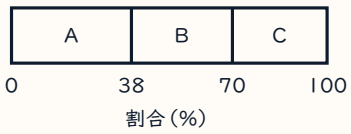
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

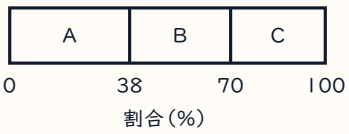
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート23：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



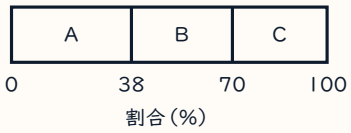
答え

(2) アンケート23：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



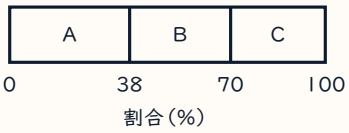
答え

(3) アンケート23：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



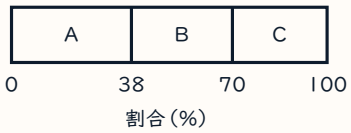
答え

(4) アンケート23：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



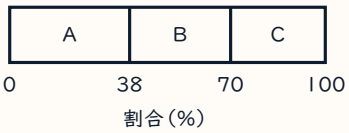
答え

(5) アンケート23：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート23：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 38%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 32%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 30%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 76人

全体の人数×Aの割合。

(5) 70%

2つの部分の割合をたします。

(6) A

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

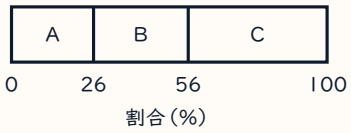
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

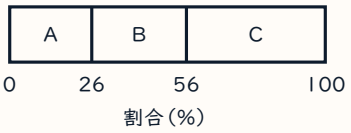
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート6：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



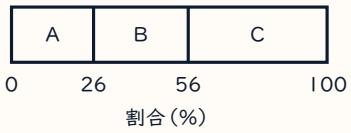
答え

(2) アンケート6：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



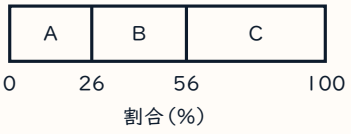
答え

(3) アンケート6：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



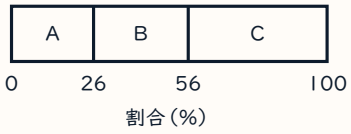
答え

(4) アンケート6：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



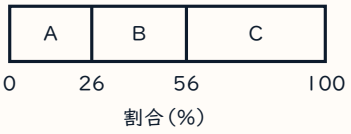
答え

(5) アンケート6：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート6：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 26%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 44%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 52人

全体の人数×Aの割合。

(5) 56%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

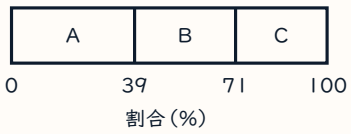
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

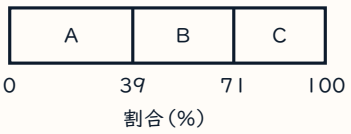
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート24：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



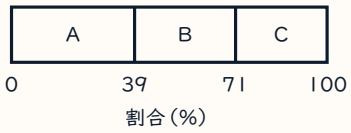
答え

(2) アンケート24：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



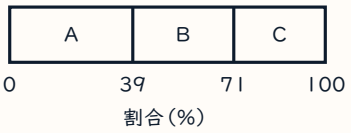
答え

(3) アンケート24：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



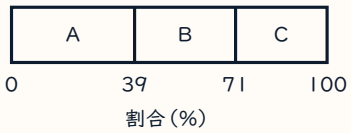
答え

(4) アンケート24：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



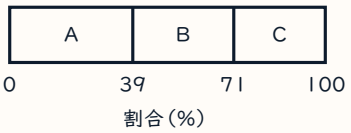
答え

(5) アンケート24：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート24：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 39%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 32%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 29%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 78人

全体の人数×Aの割合。

(5) 71%

2つの部分の割合をたします。

(6) A

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

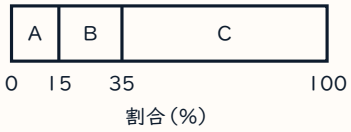
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

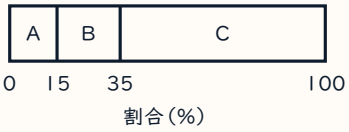
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート25：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



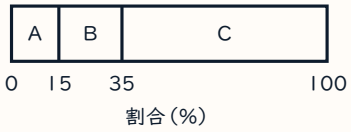
答え

(2) アンケート25：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



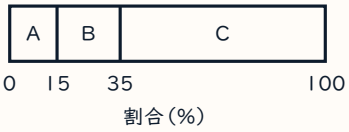
答え

(3) アンケート25：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



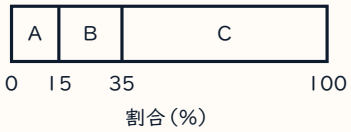
答え

(4) アンケート25：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



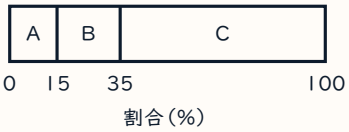
答え

(5) アンケート25：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート25：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 15%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 20%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 65%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 30人

全体の人数×Aの割合。

(5) 35%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート26：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



答え

(2) アンケート26：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



答え

(3) アンケート26：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



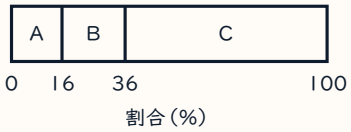
答え

(4) アンケート26：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



答え

(5) アンケート26：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート26：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 16%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 20%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 64%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 32人

全体の人数×Aの割合。

(5) 36%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

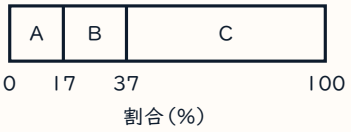
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート27：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



答え

(2) アンケート27：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



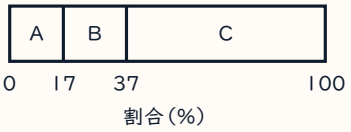
答え

(3) アンケート27：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



答え

(4) アンケート27：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



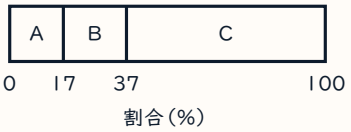
答え

(5) アンケート27：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート27：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 17%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 20%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 63%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 34人

全体の人数×Aの割合。

(5) 37%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

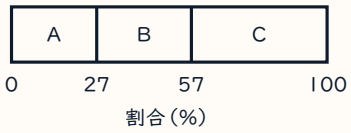
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

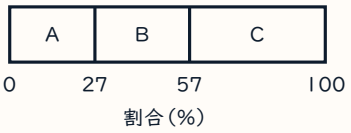
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート7：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



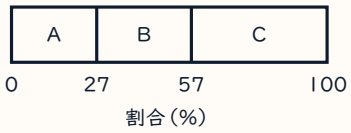
答え

(2) アンケート7：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



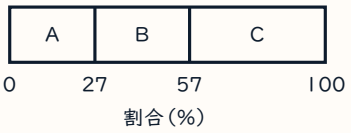
答え

(3) アンケート7：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



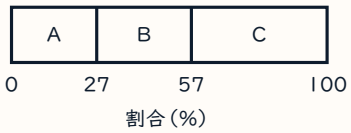
答え

(4) アンケート7：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



答え

(5) アンケート7：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート7：グラフで人数の最も多い区分は、A・B・Cのどれですか。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 27%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 30%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 43%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 54人

全体の人数×Aの割合。

(5) 57%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分です。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート28：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



答え

(2) アンケート28：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



答え

(3) アンケート28：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



答え

(4) アンケート28：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



答え

(5) アンケート28：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート28：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 18%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 20%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 62%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 36人

全体の人数×Aの割合。

(5) 38%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

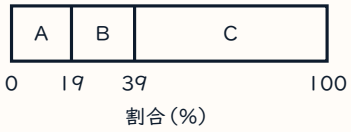
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

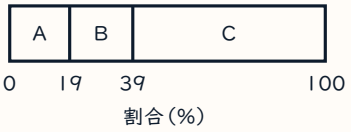
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート29：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



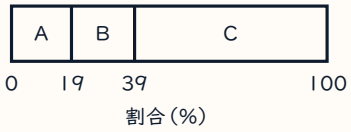
答え

(2) アンケート29：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



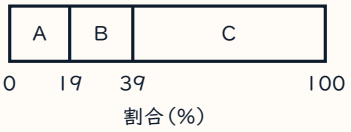
答え

(3) アンケート29：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



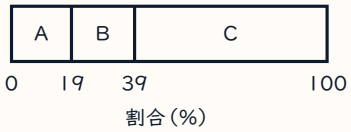
答え

(4) アンケート29：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



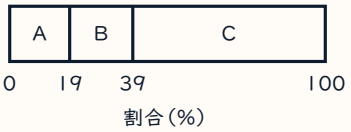
答え

(5) アンケート29：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート29：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 19%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 20%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 61%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 38人

全体の人数×Aの割合。

(5) 39%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

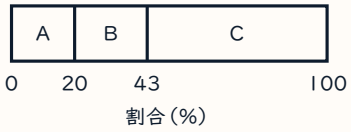
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

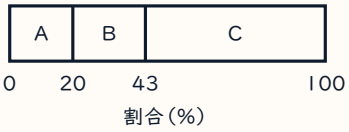
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート30：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



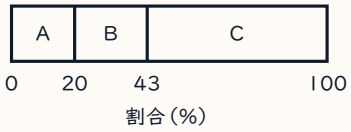
答え

(2) アンケート30：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



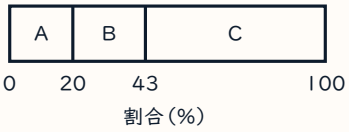
答え

(3) アンケート30：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



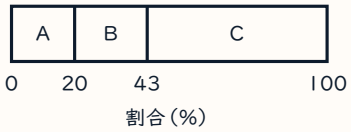
答え

(4) アンケート30：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



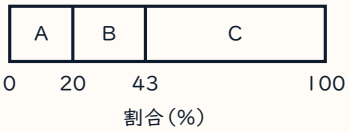
答え

(5) アンケート30：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート30：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 20%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 23%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 57%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 40人

全体の人数×Aの割合。

(5) 43%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。

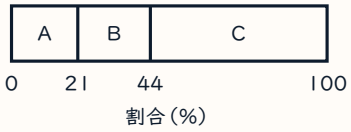
帯グラフと割合

名前 _____　日付 ____ / ____　6問・各1点

ポイント 帯全体を100%とします。区切りの数字そのものと、部分の割合を区別します。

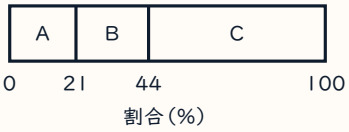
例 20%から55%までの部分は、55−20=35%です。

(1) アンケート31：帯グラフで、Aは全体の何%ですか。



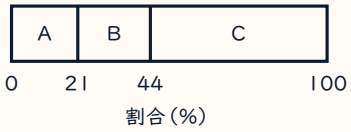
答え

(2) アンケート31：帯グラフで、Bは全体の何%ですか。



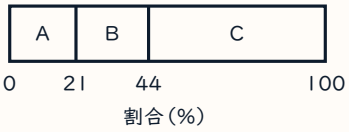
答え

(3) アンケート31：帯グラフで、Cは全体の何%ですか。



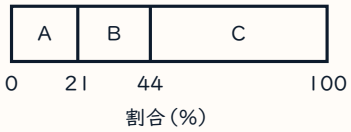
答え

(4) アンケート31：全体が200人のとき、Aは何人ですか。



答え

(5) アンケート31：AとBを合わせると全体の何%ですか。



答え

(6) アンケート31：人数の最も多い区分を、A・B・Cからすべて答えましょう。



答え

式や考え方も書きましょう。得点 ____ / 6　できた問題に○を付けましょう。

帯グラフと割合 / 解答と考え方

名前 _____　日付 ____ / ____　答え合わせ

(1) 21%

0からAの終わりまでを読みます。

(2) 23%

Bの終わりの目盛りから、始まりの目盛りをひきます。

(3) 56%

100%からAとBの割合をひきます。

(4) 42人

全体の人数×Aの割合。

(5) 44%

2つの部分の割合をたします。

(6) C

帯の幅が最も広い区分を選びます。同じ幅で最大の区分が複数あれば、すべて答えます。

間違い直し

☐ 式の選び方　☐ 計算　☐ 単位・読み取り

まちがえた番号：_____　もう一度、答えを見ずに解きましょう。

まちがえた問題は、翌日に解き直しましょう。理由が説明できないときは、先生に質問しましょう。